

最近の河川事業を取り巻く話題

三重河川国道事務所
令和8年8月10日

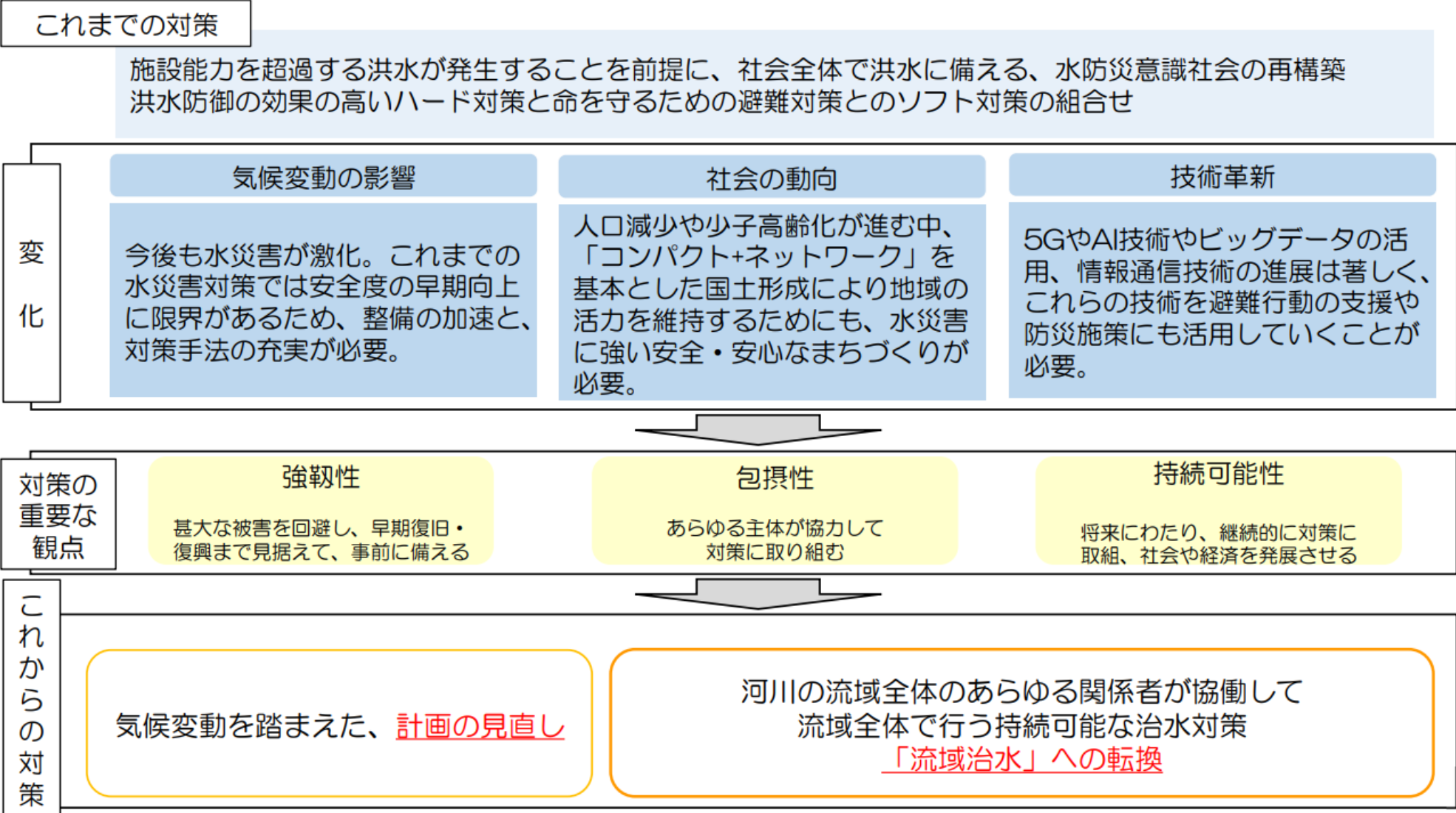


国土交通省中部地方整備局
三重河川国道事務所

気候変動を踏まえた計画へ見直し

気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について

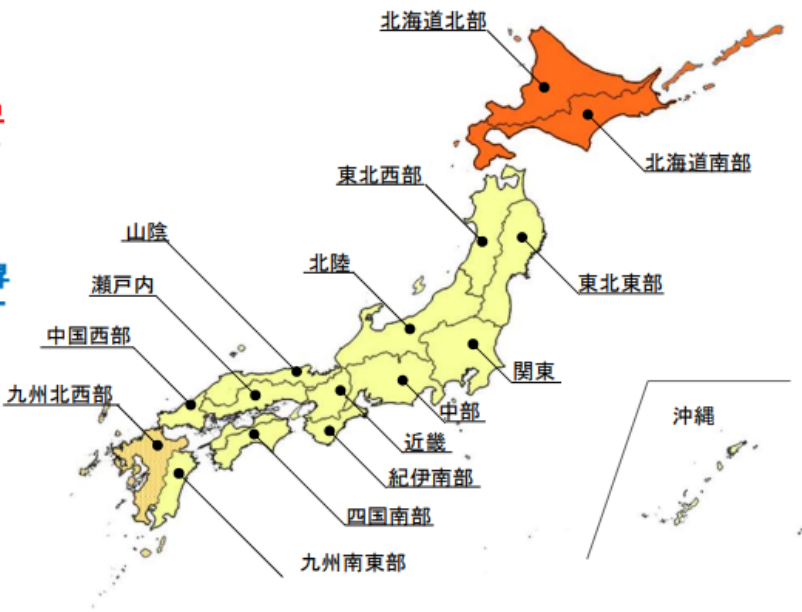
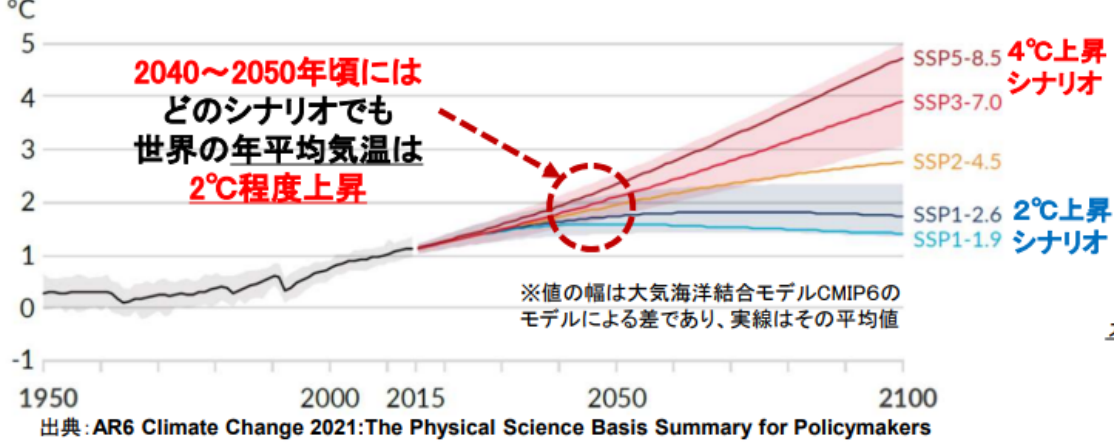
○近年の水災害による甚大な被害を受けて、施設能力を超過する洪水が発生することを前提に、社会全体で洪水に備える水防災意識社会の再構築を一步進め、気候変動の影響や社会状況の変化などを踏まえ、あらゆる関係者が協働して流域全体で行う、流域治水への転換を推進し、防災・減災が主流となる社会を目指す。



気候変動の影響を踏まえた河川整備基本方針における外力設定

- 気候変動影響を踏まえた治水計画の見直しにあたっては、「パリ協定」で定められた目標に向け、温室効果ガスの排出抑制対策が進められていることを考慮して、2℃上昇シナリオにおける平均的な外力の値を用いる。
- ただし、4℃上昇相当のシナリオについても減災対策を行うためのリスク評価、施設の耐用年数を踏まえた設計外力の設定等に適用。

＜1850年～1900年に対する世界平均気温における各シナリオごとの予測＞



＜地域区分毎の降雨量変化倍率＞

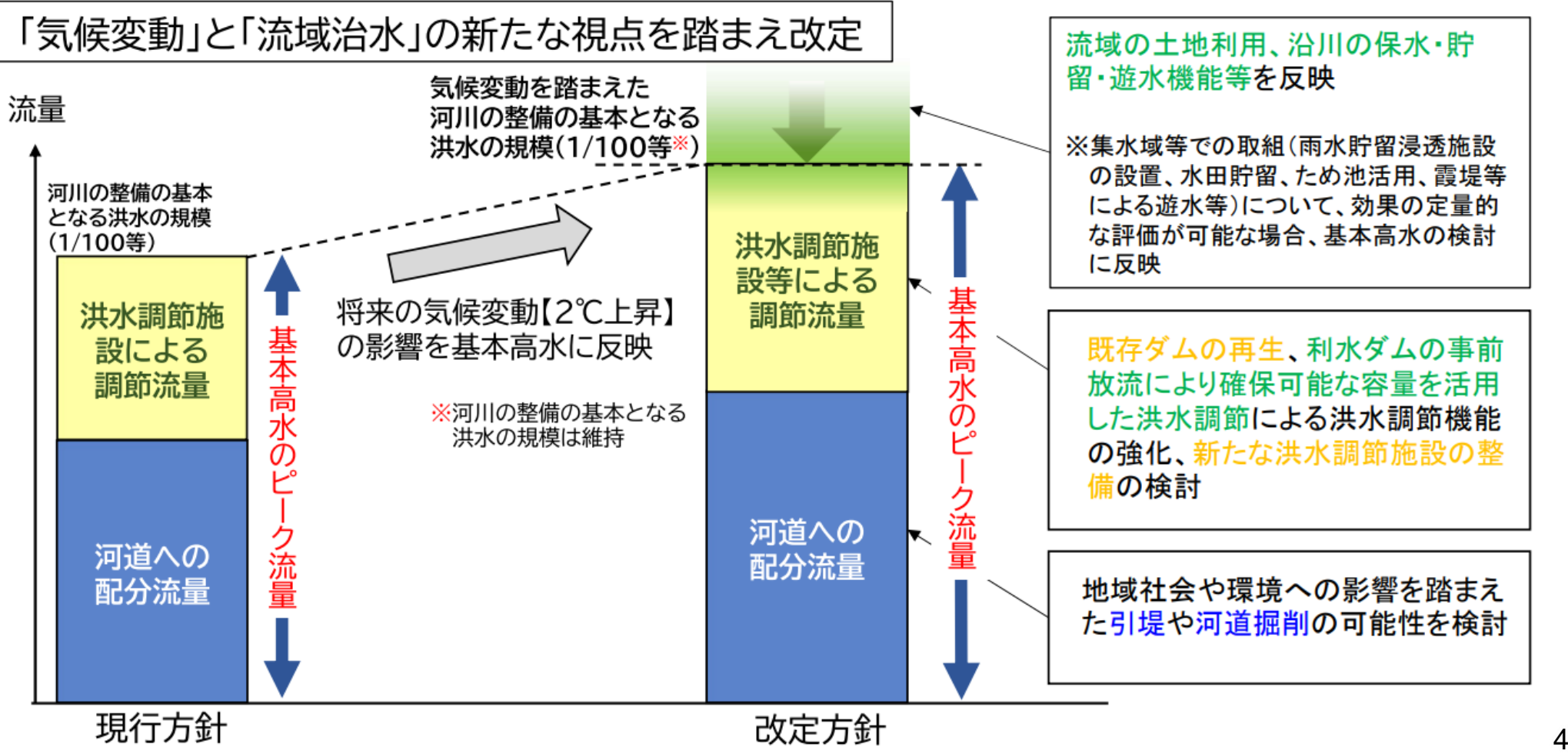
気候変動を踏まえた治水計画のあり方 提言 改訂版(令和3年4月)より

地域区分	2℃上昇	4℃上昇	
			短時間
北海道北部、北海道南部	1.15	1.4	1.5
九州北西部	1.1	1.4	1.5
その他(沖縄含む) 地域	1.1	1.2	1.3

- ※ 4℃上昇の降雨量変化倍率のうち、短時間とは、降雨継続時間が3時間以上12時間未満のこと3時間未満の降雨に対しては適用できない
- ※ 雨域面積100km²以上について適用する。ただし、100km²未満の場合についても降雨量変化倍率が今回設定した値より大きくなる可能性があることに留意しつつ適用可能とする。
- ※ 年超過確率1/200以上の規模(より高頻度)の計画に適用する。
- ※ 降雨量変化倍率算定の基礎となったd2PDF・d4PDFにおいては、温室効果ガス濃度等の外部強制因子は、AR5*で用いられたRCP8.5シナリオの2040年時点、2090年時点の値を与えている。
- * AR5: Climate Change 2013: The Physical Science Basis

気候変動の影響や流域の取組等の基本高水や流量配分への反映

- 科学技術の進展や現時点のデータの蓄積を踏まえ、将来の降雨量変化倍率、アンサンブル実験による予測降雨波形の活用など、気候変動の影響を考慮して基本高水のピーク流量を設定。
- 基本高水の設定においては、流域の土地利用、沿川の保水・遊水機能等について現況及び将来動向などを評価し、流域の降雨・流出特性や洪水の流下特性として反映。(集水域等での対策(水田貯留、ため池の活用等)については、取組が進み、効果の定量的評価が可能になった場合、基本高水の検討に反映)
- 河道と洪水調節施設等への配分については、改めて地域社会や環境への影響を踏まえた引堤や河道掘削の可能性の検討を行うとともに、既存ダムの洪水調節機能強化等の検討を行い決定。



気候変動を踏まえた計画へ見直し

- 治水計画を、「過去の降雨実績に基づく計画」から「気候変動による降雨量の増加などを考慮した計画」に見直し
- 中部地方整備局管内でも、令和5年8月に狩野川水系、令和5年12月に天竜川水系、令和7年12月に菊川水系、令和8年4月に櫛田川水系、宮川水系の河川整備基本方針の見直しを実施するとともに、令和6年7月に天竜川水系、令和8年5月に狩野川水系において、気候変動の影響により当面の目標としている治水安全度が目減りすることを踏まえ、概ね30年の具体的な整備の内容を定める河川整備計画を気候変動に対応した計画に変更。
- 他の水系についても、順次見直しを実施予定。

現状・課題

- 2℃に抑えるシナリオでも2040年頃には降雨量が約1.1倍、流量が1.2倍、洪水発生頻度が2倍になると試算
- 現行の河川整備計画が完了したとしても治水安全度は目減り
- グリーンインフラやカーボンニュートラルへの対応
- インフラDX等の技術の進展

必要な対策

- 気候変動下においても、目標規模の洪水に対して氾濫を防止することに加え、計画規模を上回る洪水に対して、流域全体で被害をできる限り軽減する。
- あらゆる関係者による、様々な手法を活用した、対策の一層の充実を図り、流域治水協議会等の関係者間で共有する。

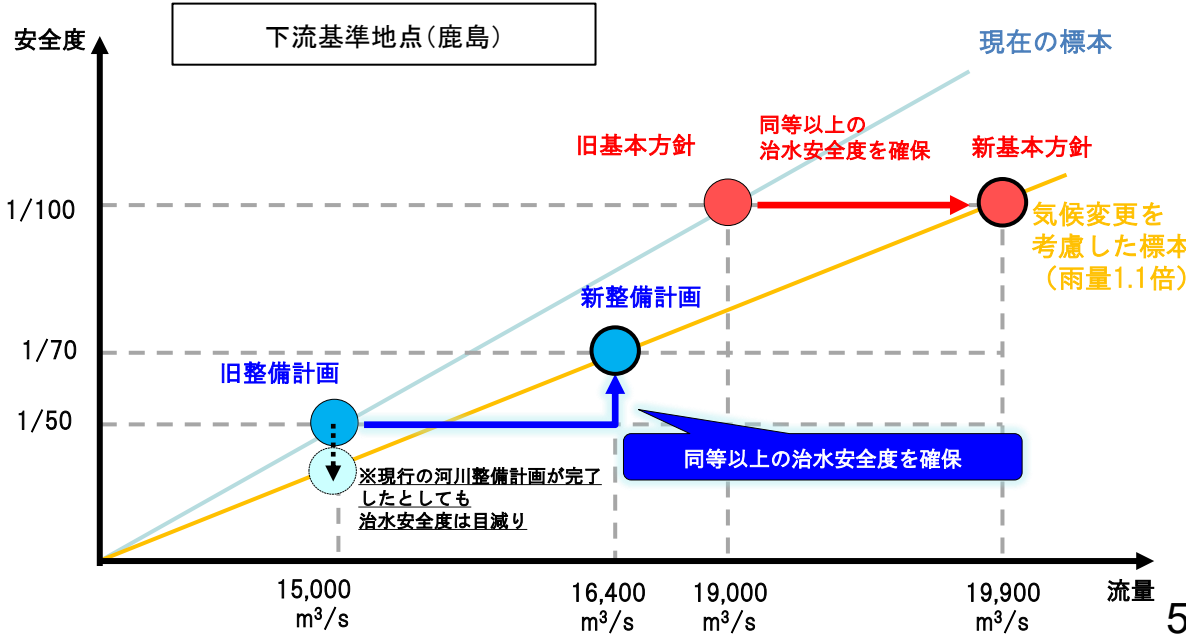
気候変動シナリオ	降雨量 (河川整備の基本とする洪水規模)
2℃上昇	約1.1倍

降雨量が約1.1倍となった場合

全国の平均的な傾向【試算結果】	流量
	約1.2倍

同じ治水安全度を確保するためには、目標流量を約1.2倍に引き上げる必要

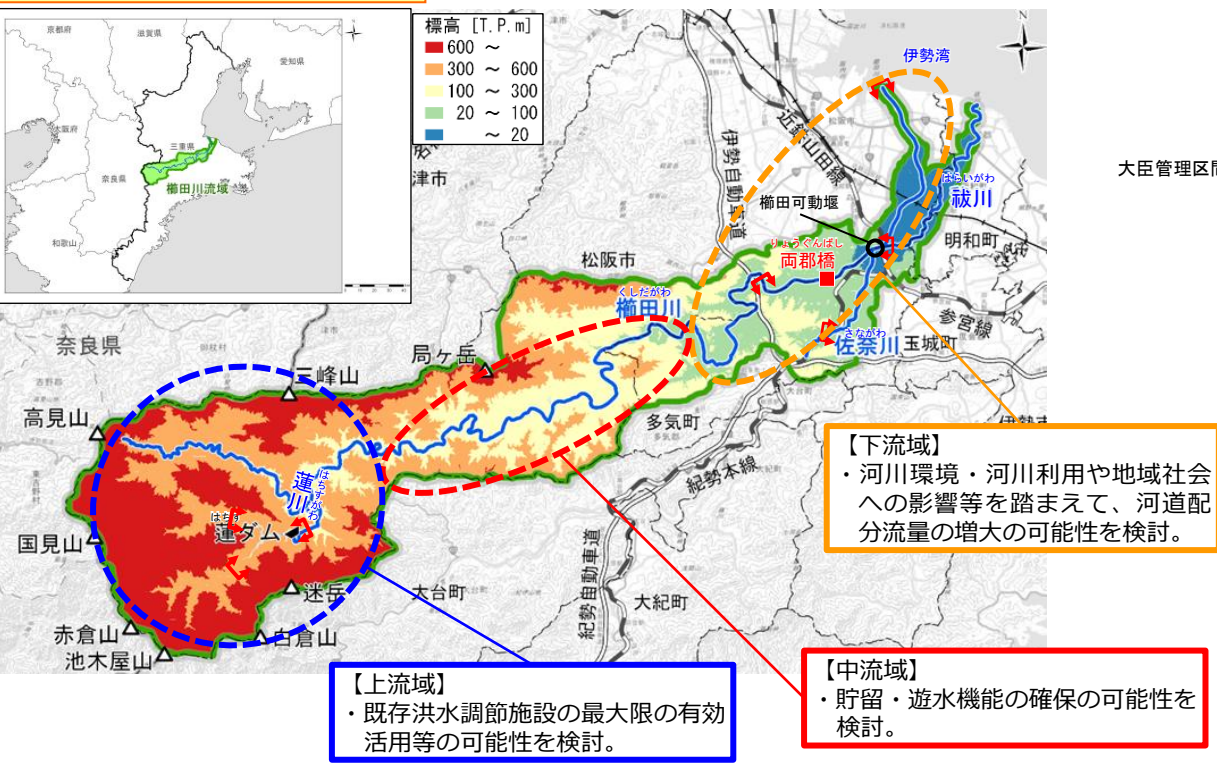
<天竜川水系の場合>



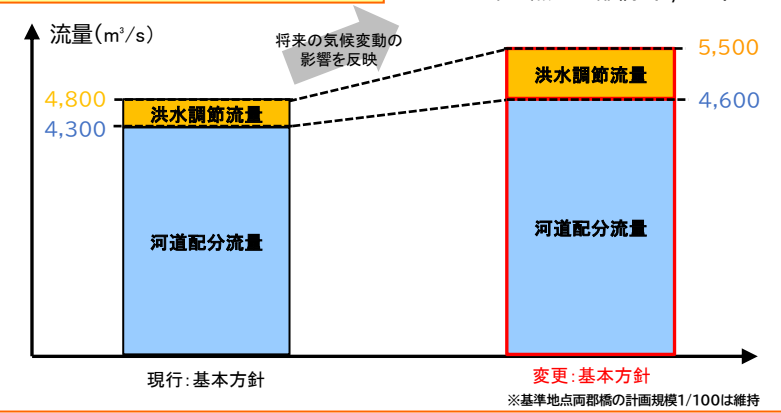
気候変動を踏まえた「櫛田川水系河川整備基本方針」変更の概要

- 長期的な河川整備の目標となる洪水（基本高水）のピーク流量を、基準地点両郡橋において4,800m³/sから5,500m³/sに変更。
- 気候変動の影響による洪水外力増大に対し、既存施設の有効活用や新たな貯留・遊水機能の確保、河川環境・河川利用や地域社会への影響等を総合的に勘案して検討し、河道配分流量を4,600m³/s、洪水調節流量を900m³/sとした。
- 事前放流による洪水調整施設の強化、田んぼダムや農業用ため池の活用、治山対策等、流域治水の取組の更なる推進を図る。

河道と洪水調節施設等の設定の考え方



河道と洪水調節施設等の配分流量



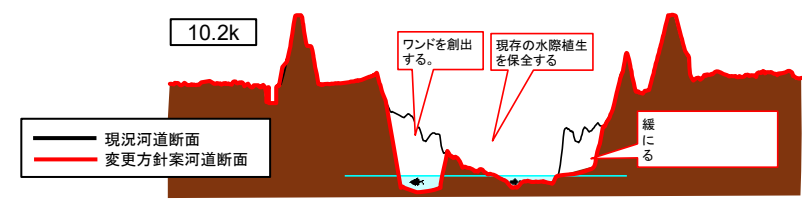
計画高水流量図

【赤字変更】

単位m³/s
■: 基準地点
●: 主要な地点

河道での対応

- 櫛田川では、櫛田可動堰上流付近が流下能力のネック地点となる。
- 水環境の創出を踏まえて櫛田可動堰地点の河床を切り下げることにより、基準地点両郡橋における河道配分流量を4,600m³/sとする。



洪水調節施設等での対応

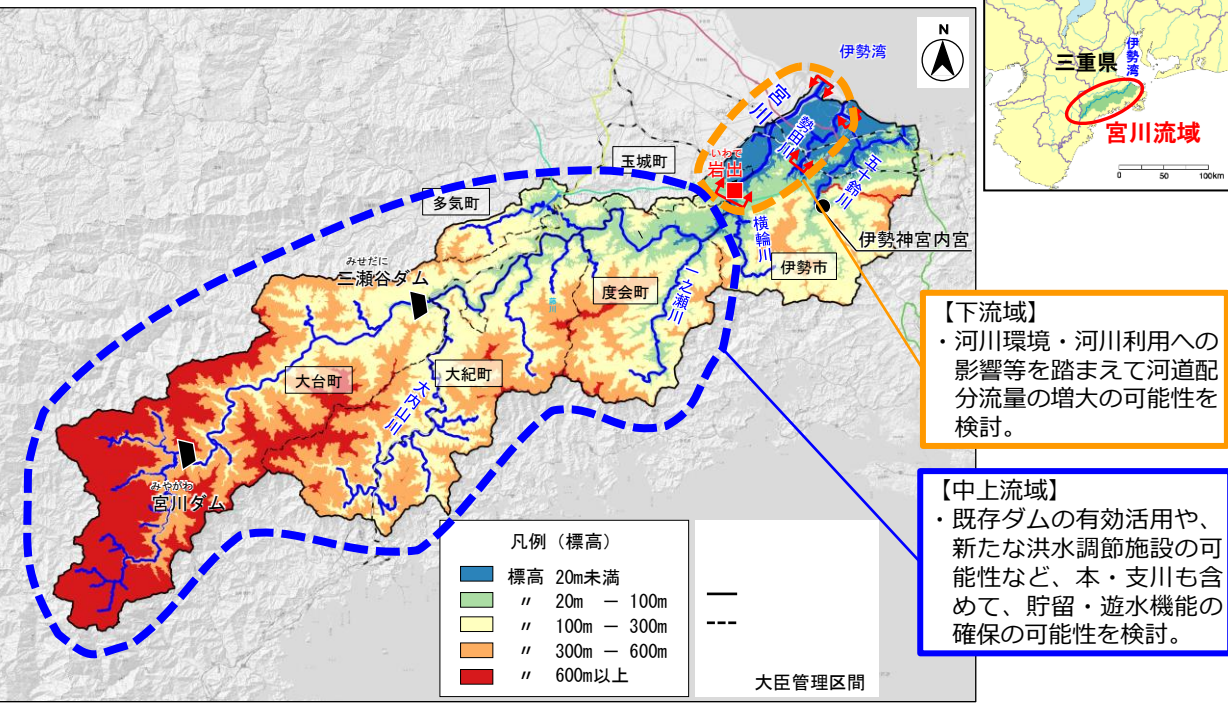
- 事前放流による容量確保や放流操作ルールの変更など既存ダムの有効活用により、基準地点両郡橋における洪水調節流量を900m³/sとする。



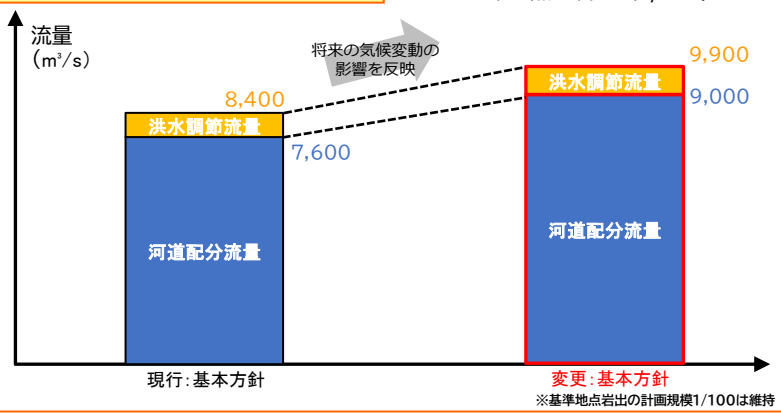
気候変動を踏まえた「宮川水系河川整備基本方針」変更の概要

- 長期的な河川整備の目標となる洪水（基本高水）のピーク流量を、基準地点岩出において8,400m³/sから9,900m³/sに変更。
- 気候変動の影響による洪水外力増大に対し、既存施設の有効活用や新たな貯留・遊水機能の確保、河川環境・河川利用や地域社会への影響等を総合的に勘案して検討し、河道配分流量を9,000m³/s、洪水調節流量を900m³/sとした。
- 事前放流による洪水調節施設の強化、田んぼダムや農業用ため池の活用、治山対策等、流域治水の取組の更なる推進を図る。

河道と洪水調節施設等の設定の考え方



河道と洪水調節施設等の配分流量



計画高水流量図

【赤字変更】

単位m³/s
■：基準地点
●：主要な地点

河道での対応

- 流下能力のネック地点は川幅が狭く、既存堤防の背後には宅地等が密集しており引堤は困難。
- 動植物の生息・生育・繁殖環境の保全、再生、創出を図りつつ、河道掘削を行うことで、9,000m³/sの流下能力が確保できることを確認。



洪水調節施設等での対応

- 既存ダムの有効活用（事前放流による容量確保、ダムの操作ルールの変更など）や新たな貯留・遊水機能の確保により、洪水調節流量を900m³/sとする。



新たな防災気象情報について

住民等のより効果的な避難行動に向けた新たな防災気象情報

令和8年5月29日から
洪水予報などの発表情報が変わります

警戒レベルにあわせて河川氾濫などの情報を発表します

- 1 防災気象情報の体系・名称を「レベル〇(災害種別)+(注意報/警報/危険警報/特別警報)」に変更
(水位周知河川については、レベル〇氾濫+(注意情報/警戒情報/危険情報/発生情報))
※これら防災気象情報は、避難行動に対応した5段階の警戒レベルに整合させ、災害発生危険度の高まりに応じて発表
- 2 避難情報と防災気象情報との関係性に変更が生じるものではありませんが、避難情報の発令判断に活用する情報の考え方を再整理
- 3 河川氾濫のレベル5相当情報については、氾濫通報制度を新たに運用することで情報を充実
- 4 変更された防災気象情報は国土交通省ホームページや川の防災情報で確認が可能

1 新たな防災気象情報

避難情報 (警戒レベル)				防災気象情報 (警戒レベル相当情報)			
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報 (避難情報等)	警戒レベル相当情報	河川氾濫	土砂災害	高潮
					洪水予報河川 水位周知河川	急傾斜地の がけ崩れや土石流	海面の上昇や 波の打上げによる浸水
					河川ごと	市町村ごと	
5	災害発生 又は 緊急	命の危険 に直面 緊急安全確保	緊急安全確保	5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
＜警戒レベル4までに必ず避難！＞				市町村に、総合的に避難指示等の発令を判断する			
4	災害のおそれ 高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
3	災害のおそれ あり	危険な場所から 高齢者等避難	高齢者等避難	3相当	レベル3 氾濫警戒情報	レベル3 土砂災害警戒情報	レベル3 高潮警戒情報
2	気象 状況 悪化	自らの避難行動を 確認する	レベル2大雨・ 土砂災害・氾濫・ 高潮注意報	2相当	レベル2 氾濫注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
1	今後気象 状況悪化 のおそれ ある	災害への心構えを 高める	早期注意情報	1相当			

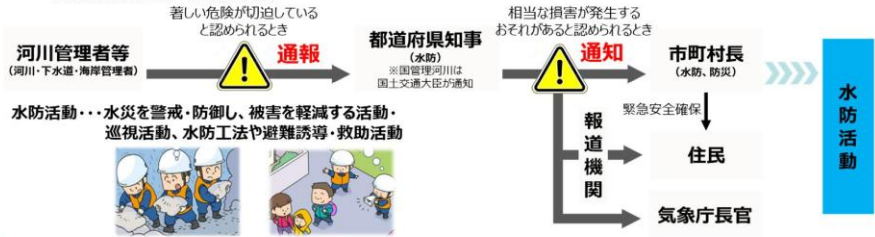
- ※ 1 レベル5氾濫特別警報とレベル5氾濫発生情報（高潮の場合はレベル5高潮特別警報とレベル5高潮氾濫発生情報）は一体的に発表される。
- ※ 2 その他河川については、流域面積が小さく、降雨により急激に水位が上昇する機会が多いため、レベル3大雨警報などの大雨に関する警報等をもとに避難情報を発令することが基本となるが、水位情報等取得できる場合はそれをもとにした発令も検討する。
- ※ 3 水路・下水道等については、従前どおり、事前の検討の結果、当該浸水が居住者等に命の危険を及ぼさないと考えられる場合には、基本的には避難情報の発令対象となし、なお、避難情報の発令の対象とする場合は、「大雨に関する警報」等を参考に発令基準を設定することが考えられる。
- ※ 4 水防計画に基づきレベル5氾濫発生情報等が発表される河川・下水道については、レベル5緊急安全確保の参考にす。

2 避難情報の発令判断に活用する情報の基本的な考え方

- レベル5 緊急安全確保
「確認情報」や「計測情報」をもとに判断することを基本とするが、その確認に時間を要する場合等は、精度を十分に考慮しつつ「推定・予測情報」も活用。
- レベル4 避難指示
「確認情報」や「計測情報」に加えて「推定・予測情報」も活用。特に、中小河川の氾濫や高潮など短時間のうちに急激に状況が悪化することが見込まれる場合には、発令判断が遅れないように「推定・予測情報」を有効活用。
- レベル3 高齢者等避難
災害発生までの時間が長いことから、「確認情報」や「計測情報」を活用することが困難であることが多いため、「推定・予測情報」を活用。
- 確認情報 : 目視やカメラ画像で氾濫発生や堤防等の施設状況を確認した情報など
- 計測情報 : 水位計等で計測した水位の実況値など
- 推定・予測情報 : 河川の水位予測や降雨予測、降雨予測等を元に災害発生危険度を推定する気象警報や洪水キキクルなど

3 氾濫通報制度

河川管理者等による氾濫等の通報を活用して洪水予報河川としてはレベル5氾濫発生情報を発表。
※従来は氾濫が確認された場合のみ氾濫発生情報を発表していましたが、今後は水位や施設の状況等を踏まえ氾濫発生情報を発表



4 防災気象情報の確認方法

- 国土交通省では、大雨や洪水などの災害リスクが高まるときに、「警報」などの防災気象情報や水位情報を発信。国土交通省のホームページ等では、これらの避難情報の発令の判断に役立つ情報を自ら確認することが可能。
- ※例えば、危険警報が出ていない場合でも、地域の実情を踏まえ水位等から避難指示を発令することが必要
- 主な情報の種類
 - 気象警報・注意報（大雨・土砂災害・氾濫・高潮など）
 - 時系列情報（明日までの警報等の見通し）
 - 早期注意情報
 - 災害の兆しを早めにお知らせ
 - 水位の情報
 - キキクル など

川の防災情報

河川水位

国・都道府県の水位情報が確認可能。
水位が上昇すると着色強調表示。

ダム情報

ダムの貯水位等が確認可能。
ダムの操作状況に応じて着色強調表示。

ライブカメラ

国・都道府県のカメラ画像。
平常時画像と並べて状況の確認が可能。

洪水予報等

指定河川洪水予報（国・都道府県）及び水位到達情報（国のみ）が確認可能。
情報が発表されている河川を着色表示。

レーダ雨量

国土交通省のXRAINによる250mメッシュ、リアルタイムな降雨状況。

https://www.river.go.jp/index

R7 気象業務法・水防法の改正に係るポイント

～ 洪水予測の業務に関係するもの ～

(1) 氾濫特別警報（洪水の特別警報）の創設

気象業務法第13条の2

- ⇒ 氾濫特別警報は洪水予報河川について発表
- ⇒ 洪水予報河川の情報名称が「〇〇警報や〇〇注意報」に
（水位周知河川の情報名称は、引き続き「〇〇情報」のまま）
- ⇒ 情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表
（レベルの数字で、とるべき防災行動が分かる！）

(2) 氾濫等の通報制度の創設

水防法第24条の2

- ⇒ 河川の氾濫による著しい危険が切迫した状態にあることを通報
（氾濫事実の確認後だけでなく、切迫状態についても）
- ⇒ 氾濫発生情報 や 氾濫特別警報 の発表に活用

情報名称の変更

➤ 令和7年の法改正及び防災気象情報の見直しに伴い、令和8年出水期から以下の通り用語が変更となります。

	基準水位			洪水予報河川			水位周知河川	
	令和7年度まで	令和8年度から		令和7年度まで	令和8年度から		令和7年度まで	令和8年度から
警戒レベル5 相当情報	氾濫する可能性のある水位 (氾濫開始水位)	氾濫発生水位 (氾濫開始水位)		氾濫発生情報	レベル5 氾濫特別警報 ／ レベル5 氾濫発生情報		氾濫発生情報	レベル5 氾濫発生情報
警戒レベル4 相当情報	氾濫危険水位 (危険水位)	氾濫危険水位 (危険水位)		氾濫危険情報	レベル4 氾濫危険警報		氾濫危険情報	レベル4 氾濫危険情報
警戒レベル3 相当情報	避難判断水位	避難判断水位		氾濫警戒情報	レベル3 氾濫警報		氾濫警戒情報	レベル3 氾濫警戒情報
警戒レベル2 情報	氾濫注意水位	氾濫注意水位		氾濫注意情報	レベル2 氾濫注意報		氾濫注意情報	レベル2 氾濫注意情報

洪水予報等の発表基準

洪水予報の標題	発表基準	市町村・住民に求める行動の段階
〇〇川 レベル5 氾濫発生情報 ※洪水予報については、レベル5 氾濫特別警報と一体的に発表	・ <u>氾濫による著しい危険が切迫</u> ・ 氾濫の発生 (氾濫水の予報※)	氾濫水への警戒を求める段階 【警戒レベル5相当】 → 緊急安全確保
〇〇川 レベル4 氾濫危険警報	急激な水位上昇によりまもなく 氾濫危険水位を超え、さらに水 位の上昇が見込まれる場合 (氾濫発生水位への到達予測) あるいは氾濫危険水位(レベル4 水位)に到達した場合	いつ氾濫してもおかしくない 状態 避難等の氾濫発生に対する対 応を求める段階 【警戒レベル4相当】 → 避難指示
〇〇川 レベル3 氾濫警報	一定時間後に氾濫危険水位(レベ ル4 水位)に到達が見込まれる場 合、あるいは避難判断水位(レベ ル3 水位)に到達し、更に水位の 上昇が見込まれる場合	避難準備などの氾濫発生に対 する警戒を求める段階 【警戒レベル3相当】 → 高齢者等避難
〇〇川 レベル2 氾濫注意報	氾濫注意水位(レベル2 水位)に 到達し、さらに水位の上昇が見 込まれる場合	氾濫の発生に対する注意を求 める段階 【警戒レベル2】

※氾濫水の予報

平成17年7月の水防法および気象業務法の改正により、従来の洪水のおそれがあるときに発表する水位・流量の予報に加え、河川が氾濫した後においては浸水する区域及びその水深の予報を行うことになった。

(国管理区間の利根川上流部、利根川中流部及び阿武隈川下流部)

令和8年台風第6号における出水状況について

令和8年台風第6号における 出水状況について



雲出川水系波瀬川 下川原水位観測所(3.8k左岸) 6月3日6:30頃

国土交通省 中部地方整備局

三重河川国道事務所

蓮ダム管理所

注: 本資料は速報として取りまとめたもので、後日一部訂正や追加をすることがあります。

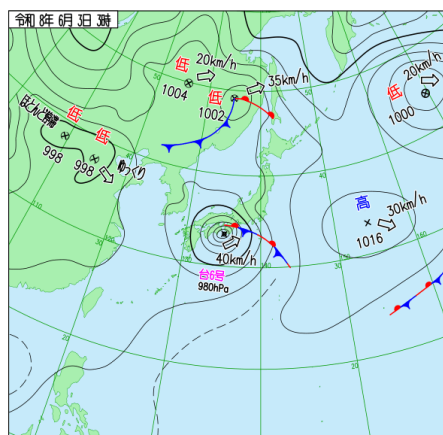
令和8年台風第6号における出水状況

○出水概要(雨量・水位状況)

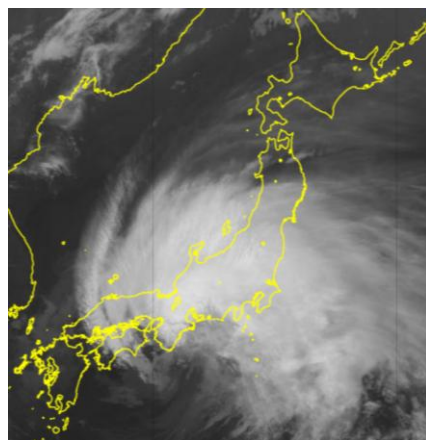
○ 台風周辺や本体の暖かく湿った空気が前線に流れ込み、三重県全域において2日夜から3日にかけて、大雨となりました。

○ 鈴鹿川水系鈴鹿川流域、内部川流域、雲出川水系雲出川流域、波瀬川流域、中村川流域、櫛田川水系櫛田川流域、宮川水系宮川流域での24時間降水量は、以下を記録しました。

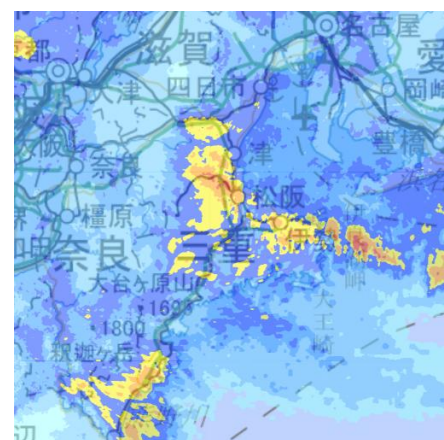
・亀山雨量観測所	181mm(時間最大24mm/h)	※鈴鹿川水系 鈴鹿川流域
・山之坊雨量観測所	211mm(時間最大24mm/h)	※鈴鹿川水系 内部川流域
・川上雨量観測所	290mm(時間最大42mm/h)	※雲出川水系 雲出川流域
・室の口雨量観測所	392mm(時間最大67mm/h)	※雲出川水系 波瀬川流域
・宇気郷雨量観測所	362mm(時間最大51mm/h)	※雲出川水系 中村川流域
・波瀬雨量観測所	205mm(時間最大30mm/h)	※櫛田川水系 櫛田川流域
・宮川雨量観測所	298mm(時間最大54mm/h)	※宮川水系 宮川流域



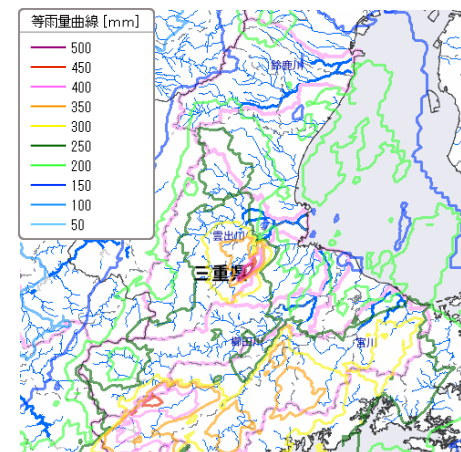
6月3日 3時 実況天気図
出典:気象庁WEBサイト



6月3日 3時30分 気象衛星画像
出典:気象庁WEBサイト



6月3日 4時 レーダー雨量
出典:川の防災情報



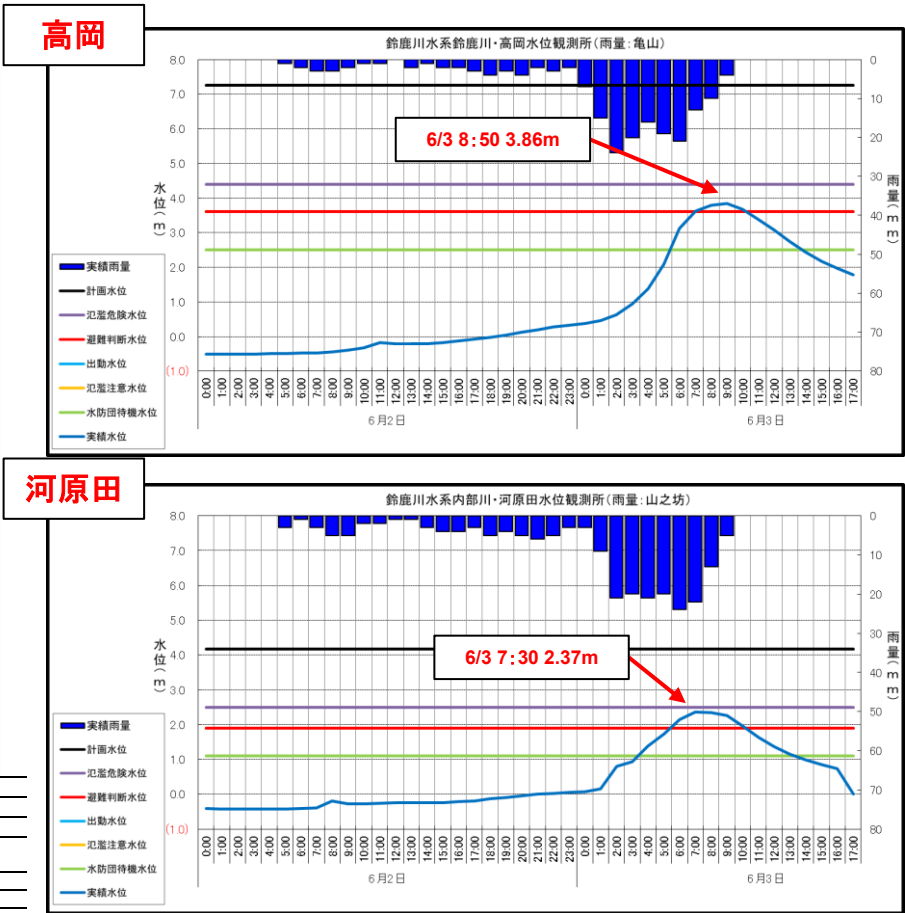
等雨量曲線図
6月2日9時～6月3日9時
出典:統一河川情報

出水における水位状況（鈴鹿川水系）

- 鈴鹿川水系 鈴鹿川 高岡水位観測所において避難判断水位を超過。
- 鈴鹿川水系 内部川 河原田水位観測所において避難判断水位を超過。



水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水
鈴鹿川	鈴鹿川	亀山	6/3 6:20 3.06	2.70
鈴鹿川	鈴鹿川	高岡	6/3 8:50 3.86	2.50
鈴鹿川	内部川	河原田	6/3 7:30 2.37	1.10
鈴鹿川	安楽川	川崎	6/3 6:50 0.43	0.10

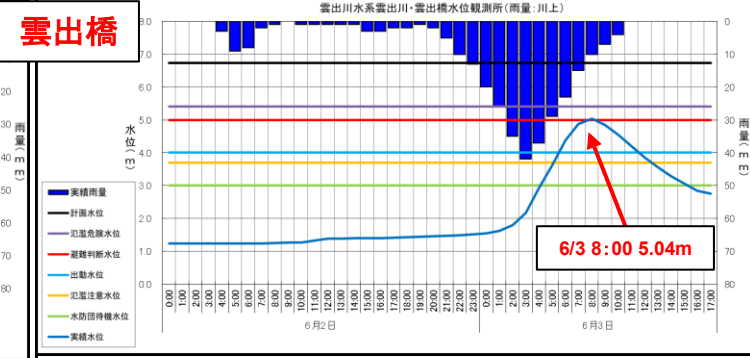
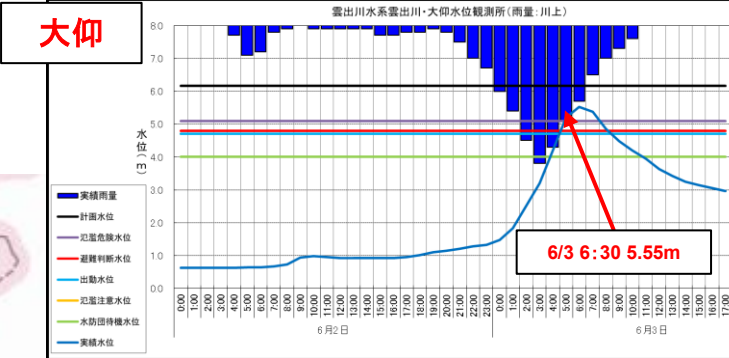


出水における水位状況（雲出川水系）

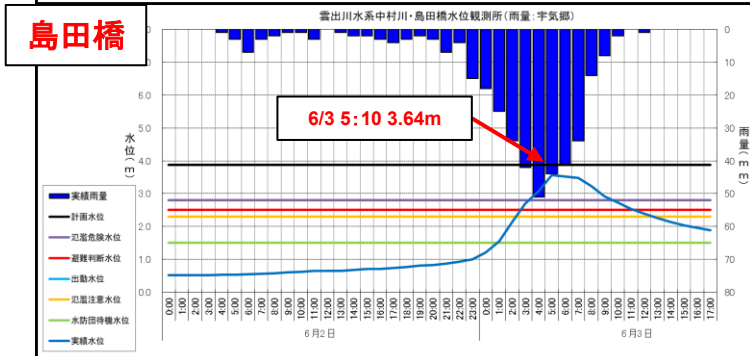
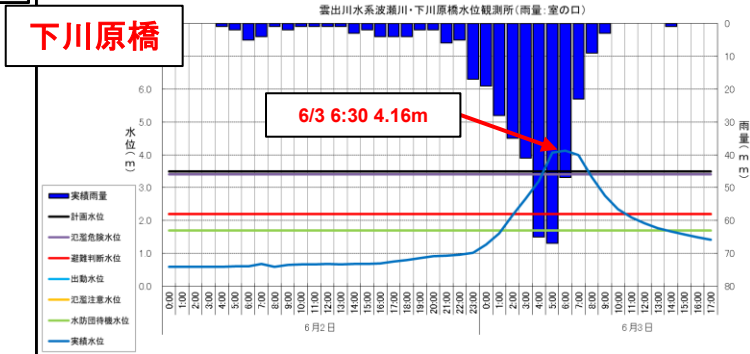
- 雲出川水系 雲出川 大仰水位観測所において**氾濫危険水位**を超過。
- 雲出川水系 雲出川 雲出橋水位観測所において**避難判断水位**を超過。
- 雲出川水系 波瀬川 下川原橋水位観測所において**計画高水位**を超過。
- 雲出川水系 中村川 島田橋水位観測所において**氾濫危険水位**を超過。

凡例

- : 計画高水位超過
- : 氾濫危険水位超過
- : 避難判断水位超過
- : 出動水位超過
- : 氾濫注意水位超過
- : 水防団待機水位超過



水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水 待機
雲出川	雲出川	大仰	6/3 6:30 5.55	4
雲出川	雲出川	雲出橋	6/3 8:00 5.04	3
雲出川	波瀬川	下川原橋	6/3 6:30 4.16	1
雲出川	中村川	島田橋	6/3 5:10 3.64	1



出水における水位状況（櫛田川水系）

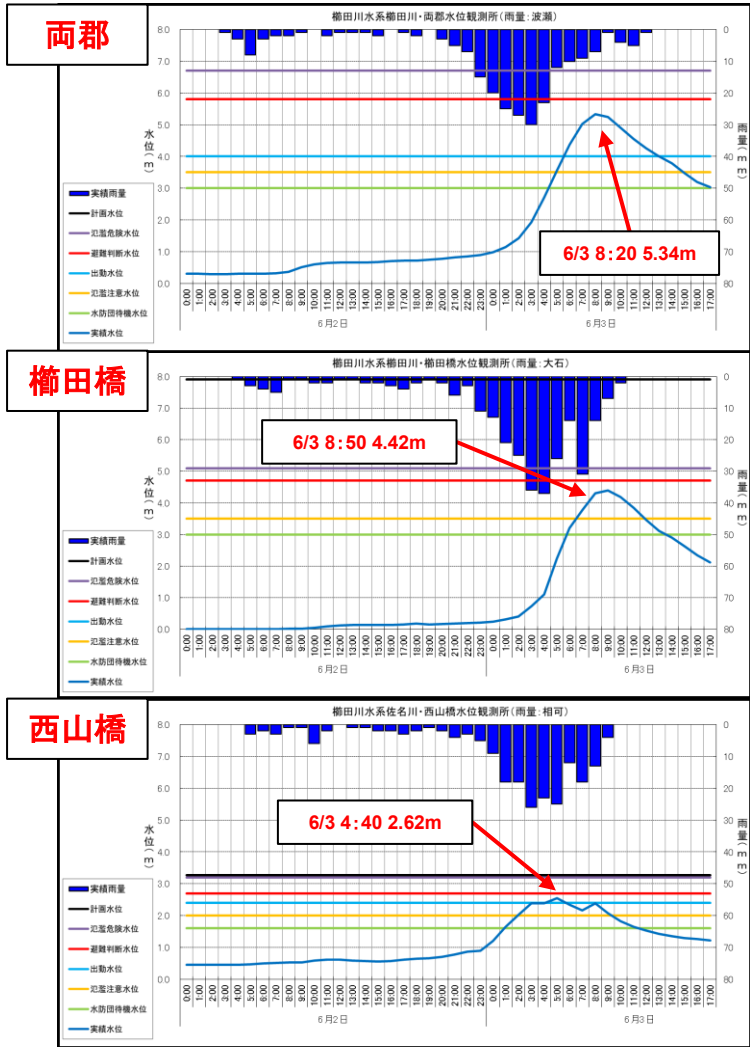
- 櫛田川水系 櫛田川 両郡水位観測所において**出動水位**を超過。
- 櫛田川水系 櫛田川 櫛田橋水位観測所において**氾濫注意水位**を超過。
- 櫛田川水系 佐奈川 西山橋水位観測所において**出動水位**を超過。



水系名	河川名	観測所名	最高水位	待機水位	注意水位	出動水位	水位
櫛田川	櫛田川	両郡	6/3 8:20 5.34	3.00	3.50	4.00	5.80

水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判 断水位
櫛田川	櫛田川	櫛田橋	6/3 8:50 4.42	3.00	3.50	4.70	4.70

水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判 断水位
櫛田川	佐奈川	西山橋	6/3 4:40 2.62	1.60	2.00	2.40	2.70

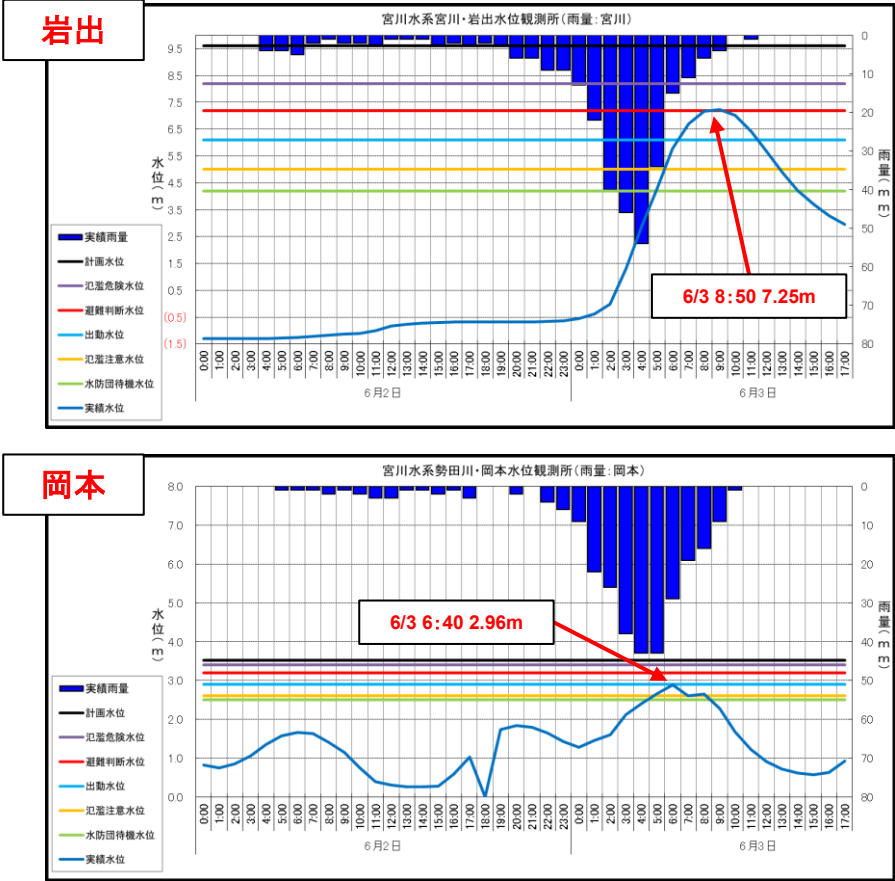


出水における水位状況（宮川水系）

- 宮川水系 宮川 岩出水位観測所において避難判断水位を超過。
- 宮川水系 勢田川 岡本水位観測所において出動水位を超過。



宮川	宮川	岩出	6/3 8:50 7.25	4.20	5.00	6.10	7.20
水系名	河川名	観測所名	今回 最高水位	水防団 待機水位	氾濫 注意水位	出動水位	避難判断 水位
宮川	勢田川	岡本	6/3 6:40 2.96	2.50	2.60	2.90	3.20



平常時と出水時の比較

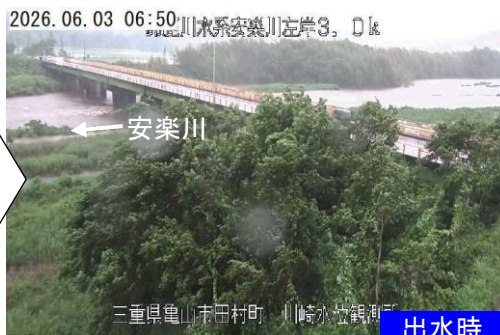
■鈴鹿川水系 鈴鹿川 高岡水位観測所



■鈴鹿川水系 内部川 河原田水位観測所



■鈴鹿川水系 安楽川 川崎水位観測所



平常時と出水時の比較



平常時と出水時の比較

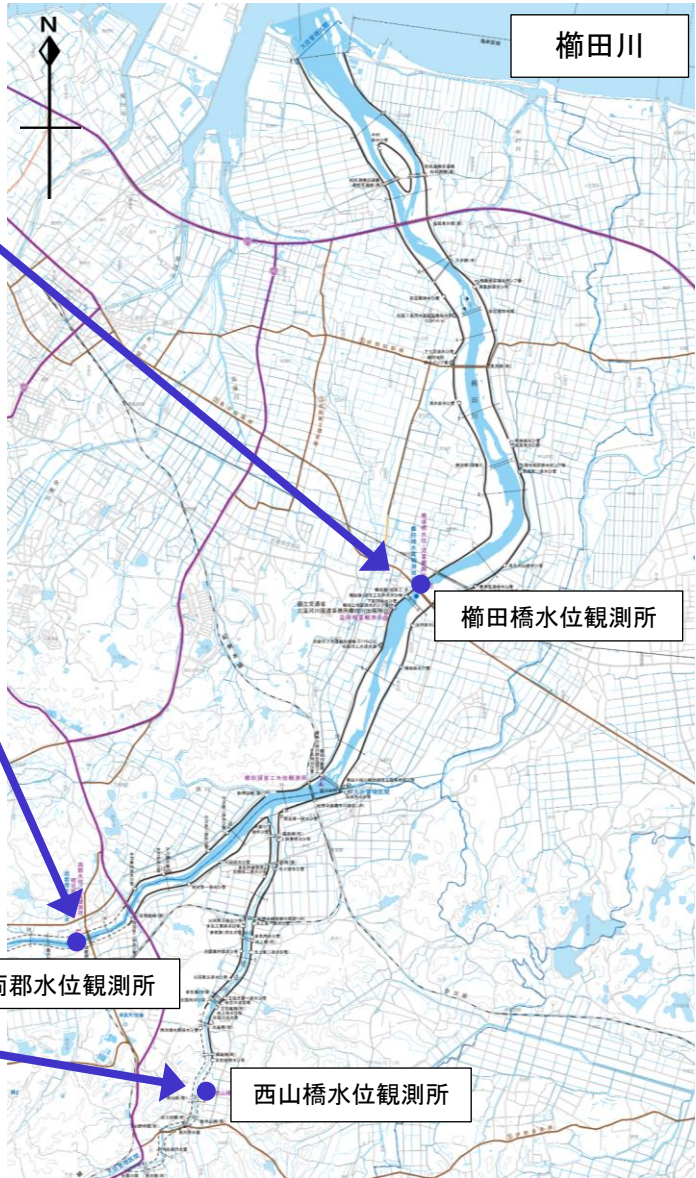
■ 櫛田川水系 櫛田川 櫛田橋水位観測所



■ 櫛田川水系 櫛田川 両郡水位観測所



■ 櫛田川水系 佐奈川 西山橋水位観測所



平常時と出水時の比較

■宮川水系 宮川 岩出水位観測所

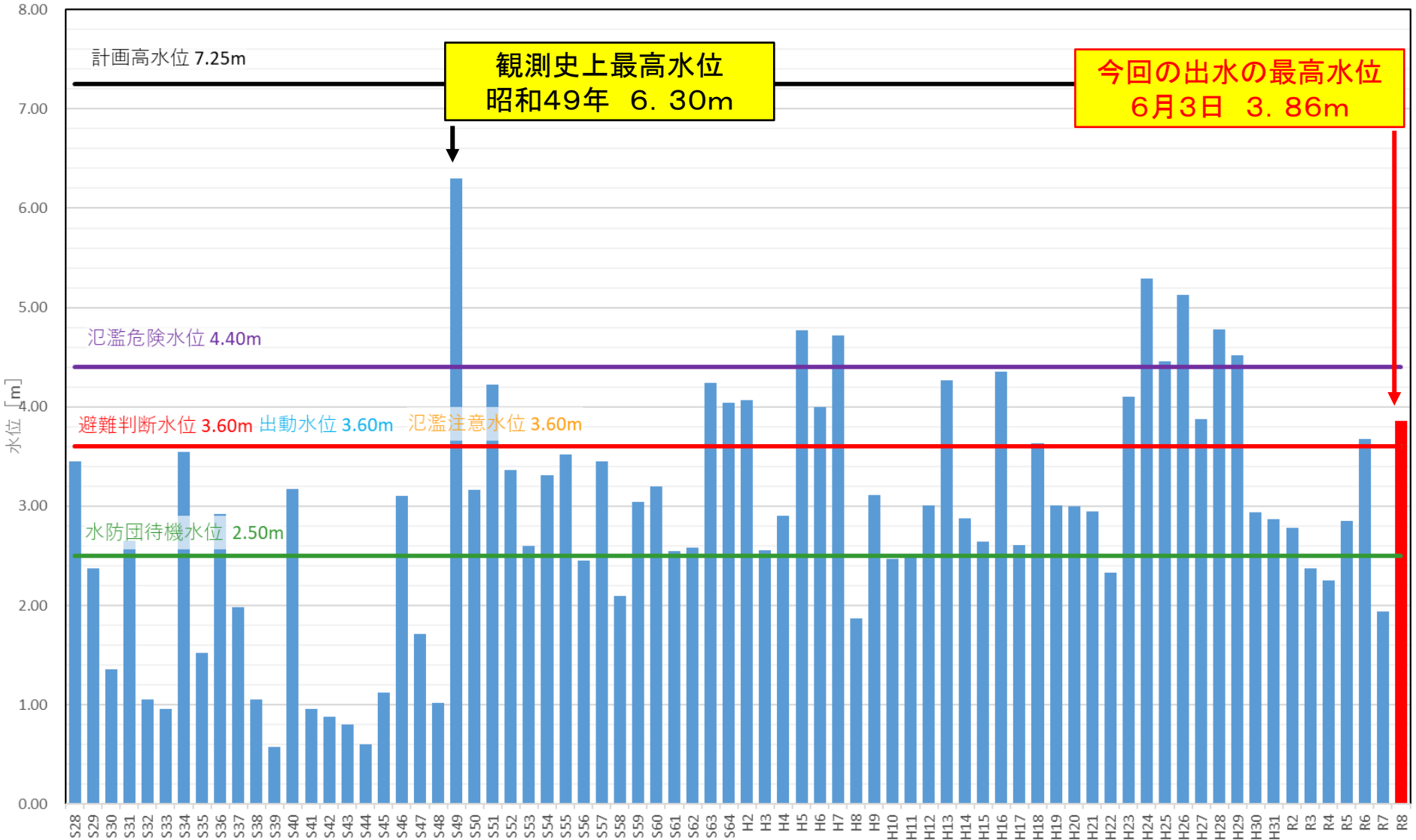


■宮川水系 勢田川 岡本水位観測所



水位の概要(高岡水位観測所:鈴鹿川水系鈴鹿川)

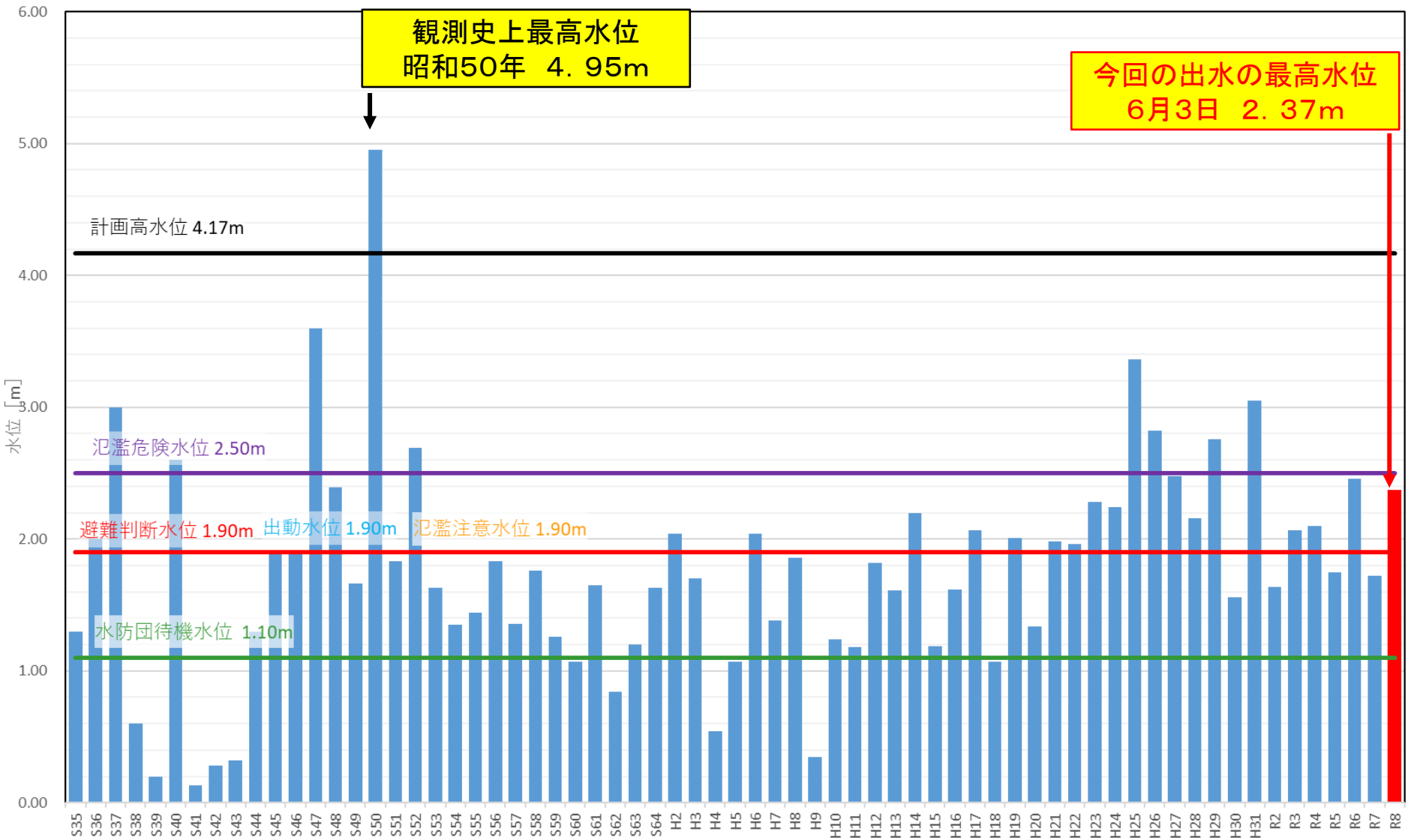
鈴鹿川 高岡水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(河原田水位観測所:鈴鹿川水系内部川)

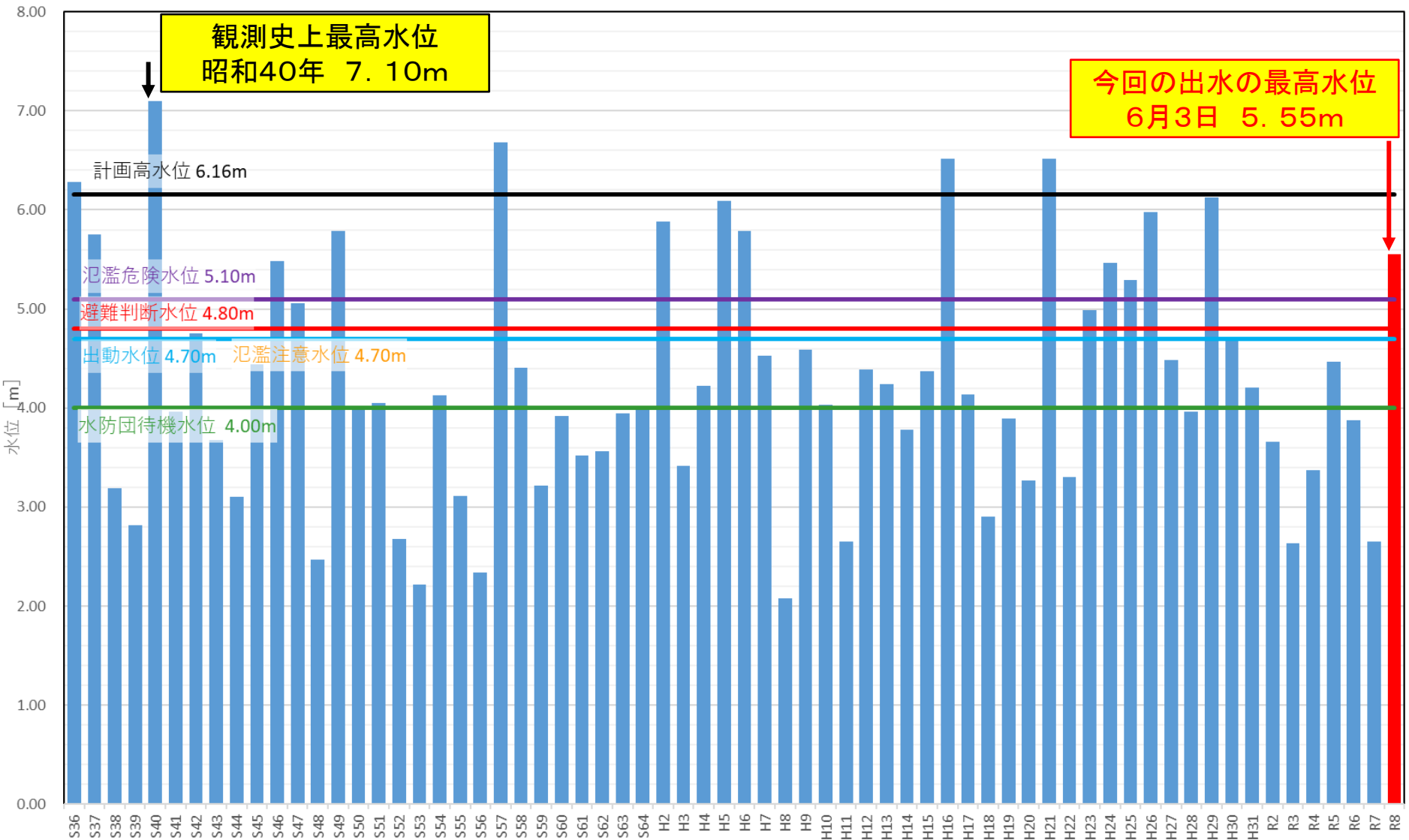
内部川 河原田水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(大仰水位観測所:雲出川水系雲出川)

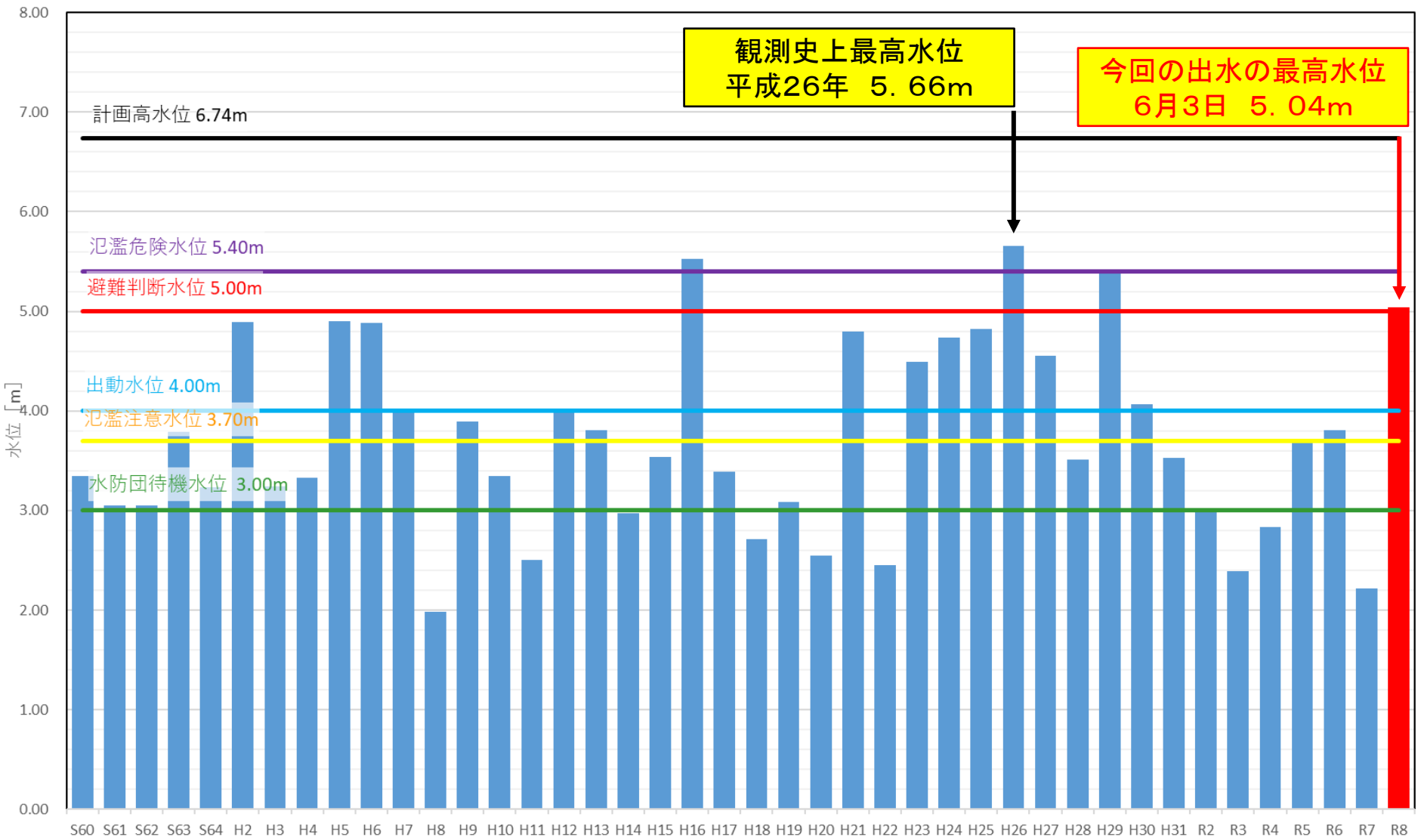
雲出川 大仰水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

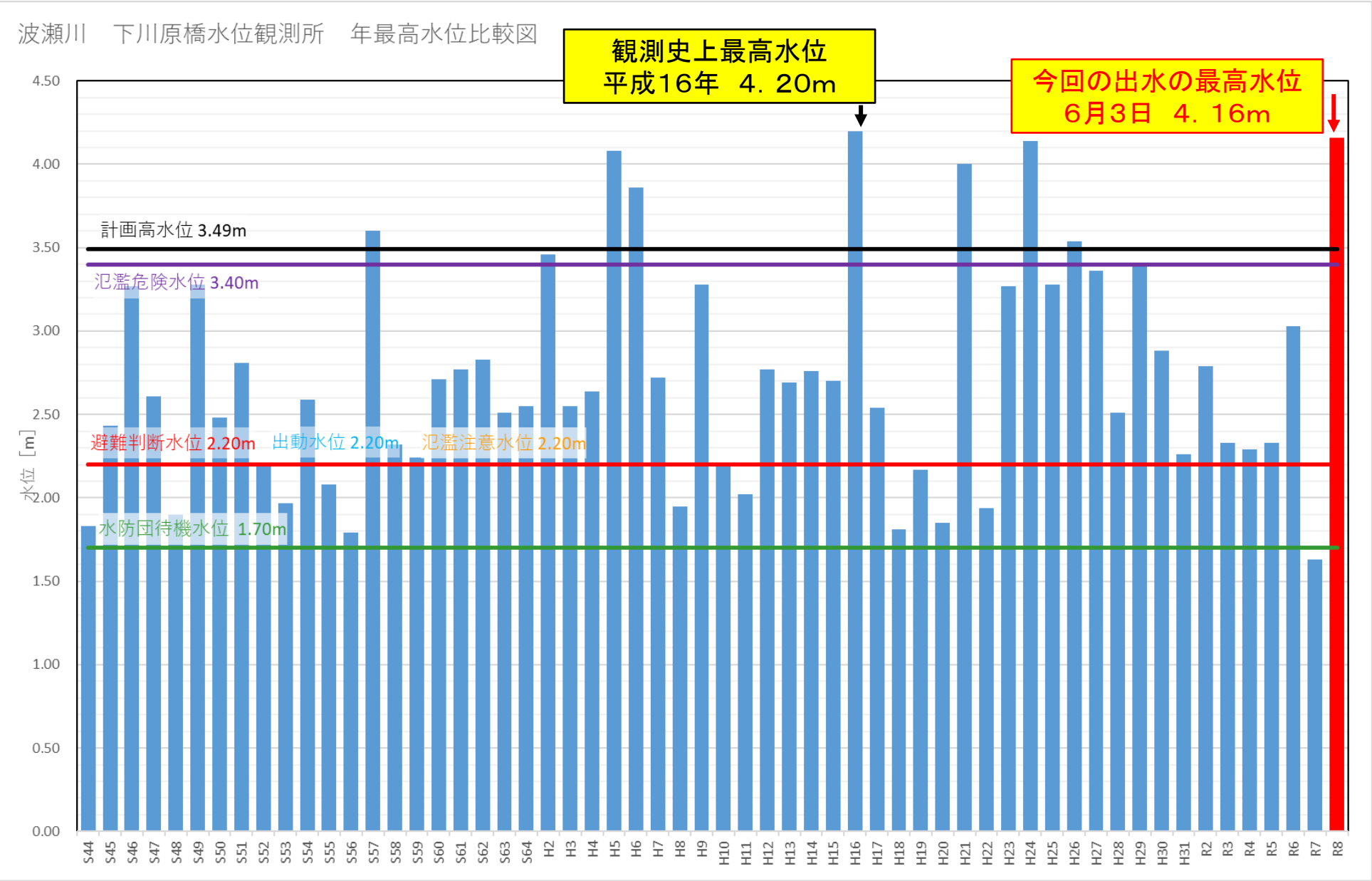
水位の概要(雲出橋水位観測所:雲出川水系雲出川)

雲出川 雲出橋水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

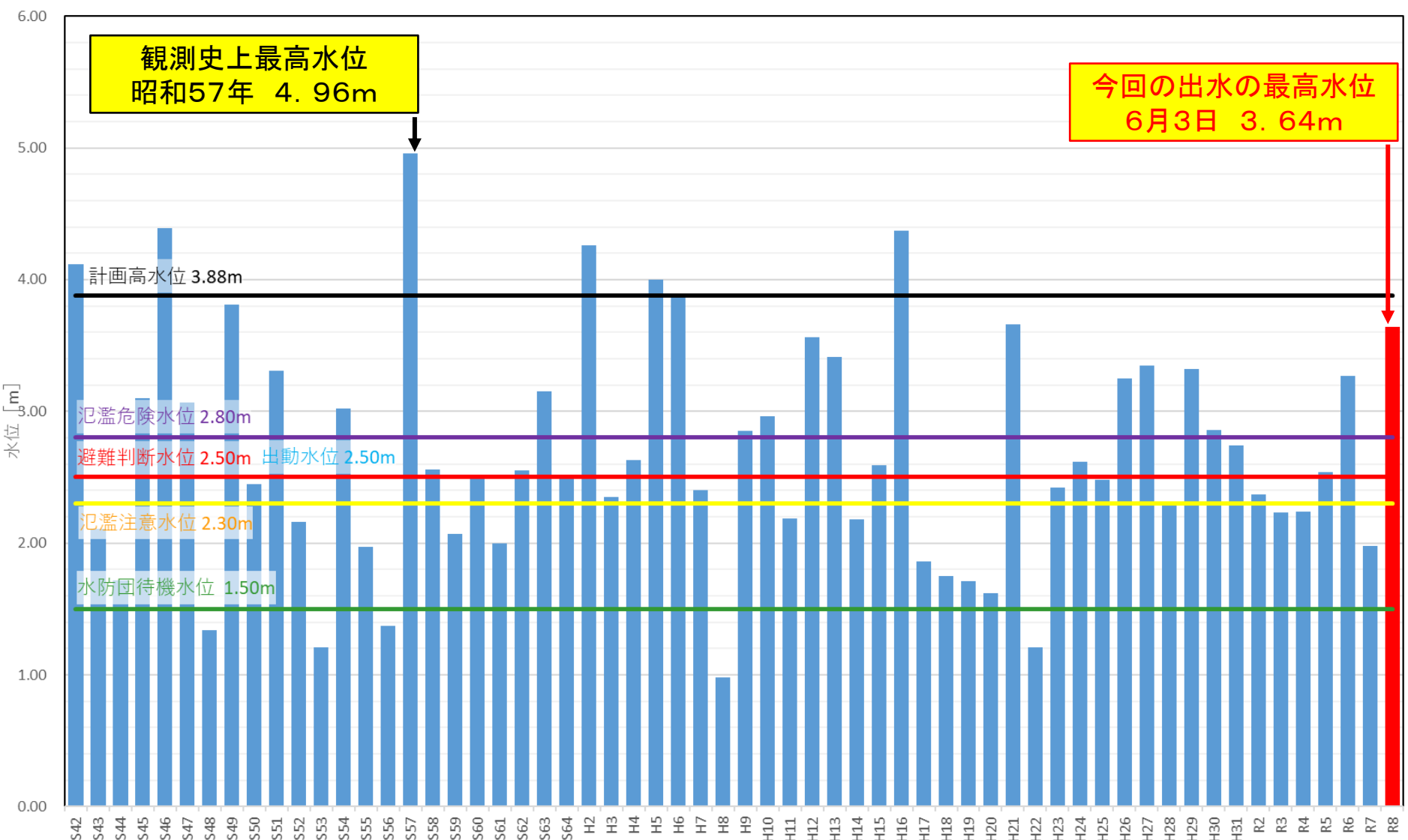
水位の概要(下川原橋水位観測所:雲出川水系波瀬川)



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(島田橋水位観測所:雲出川水系中村川)

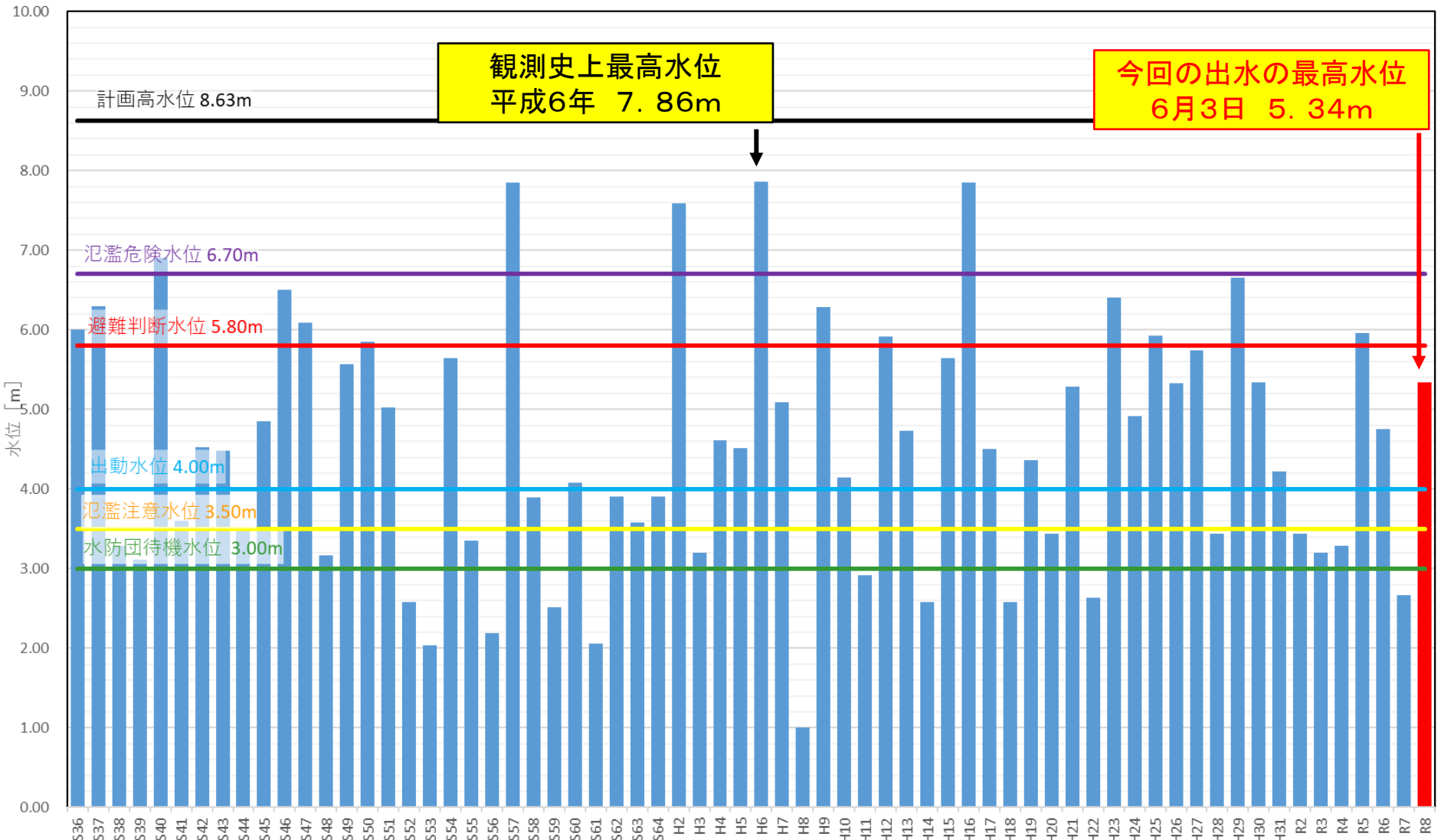
中村川 島田橋水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(両郡水位観測所:櫛田川水系櫛田川)

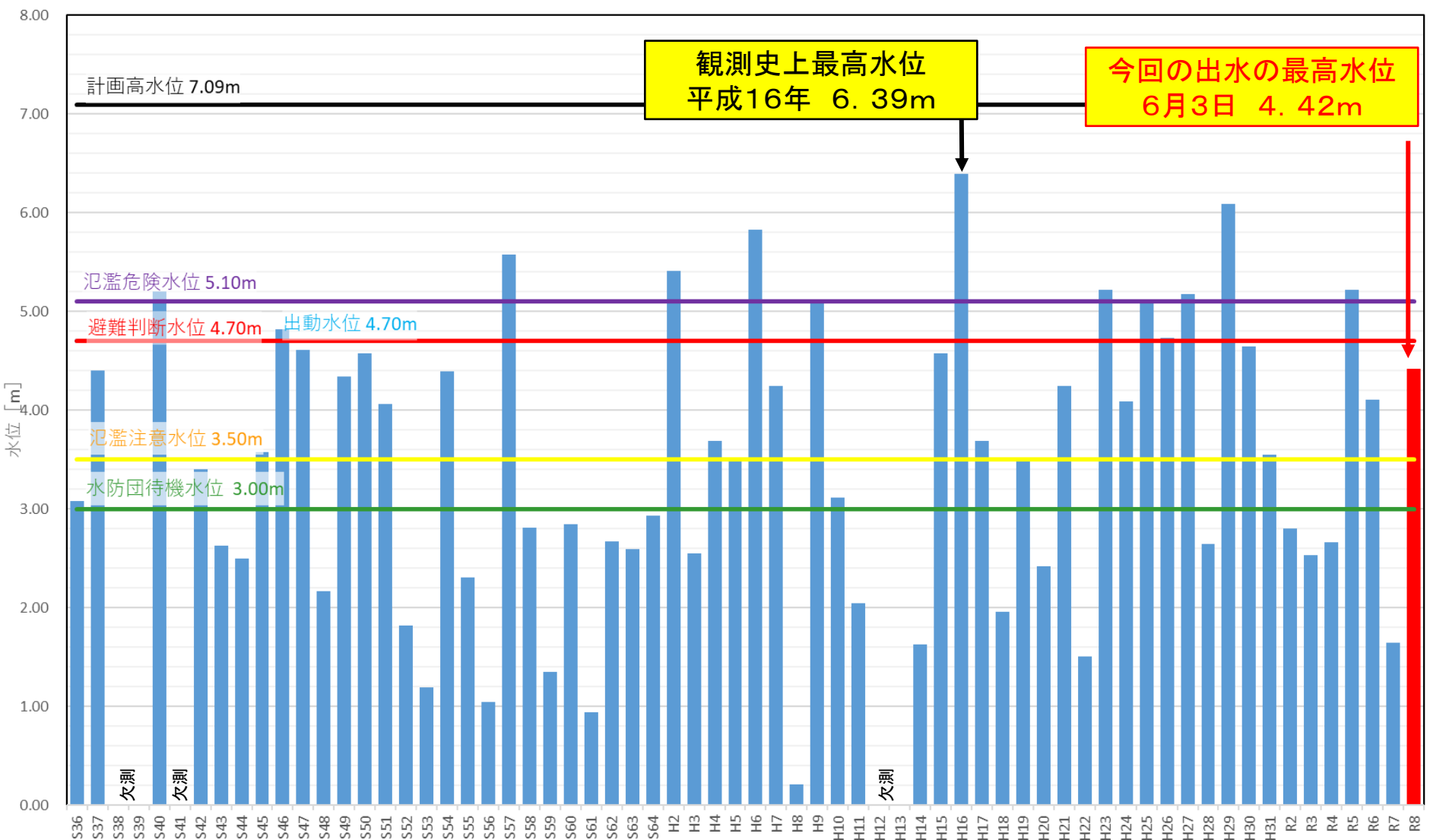
櫛田川 両郡水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(櫛田橋水位観測所:櫛田川水系櫛田川)

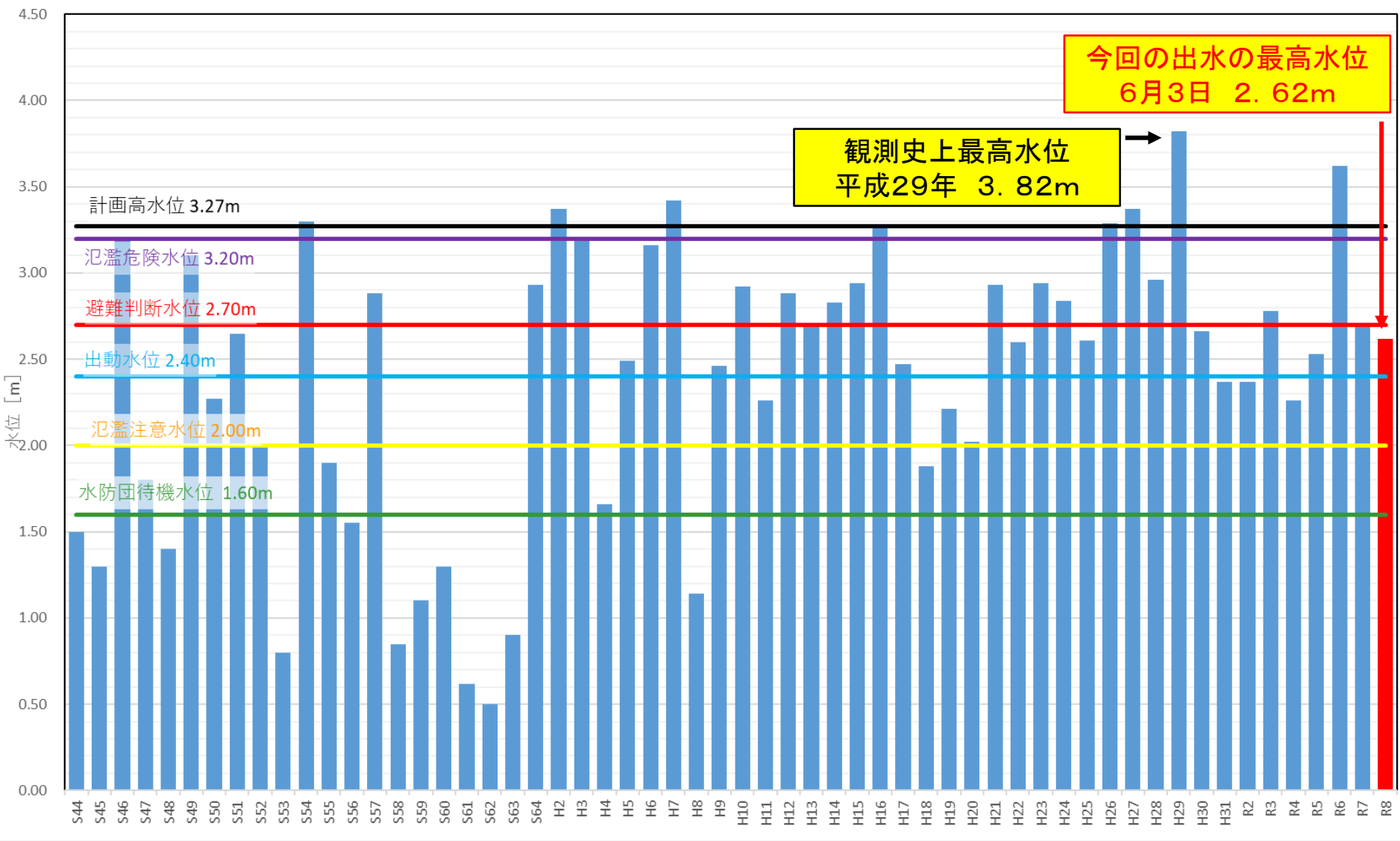
櫛田川 櫛田橋水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(西山橋水位観測所:櫛田川水系佐奈川)

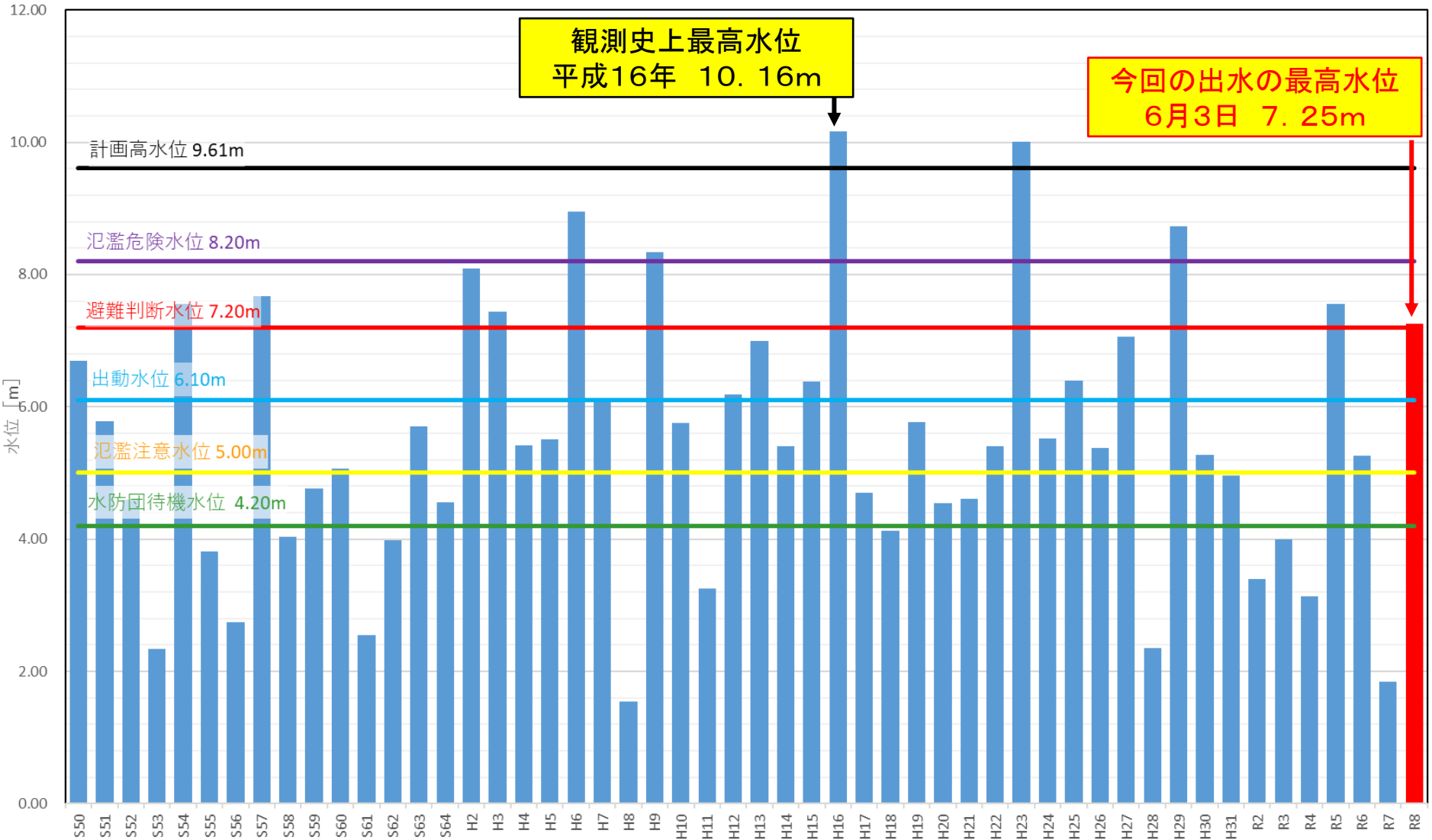
佐奈川 西山橋水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(岩出水位観測所:宮川水系宮川)

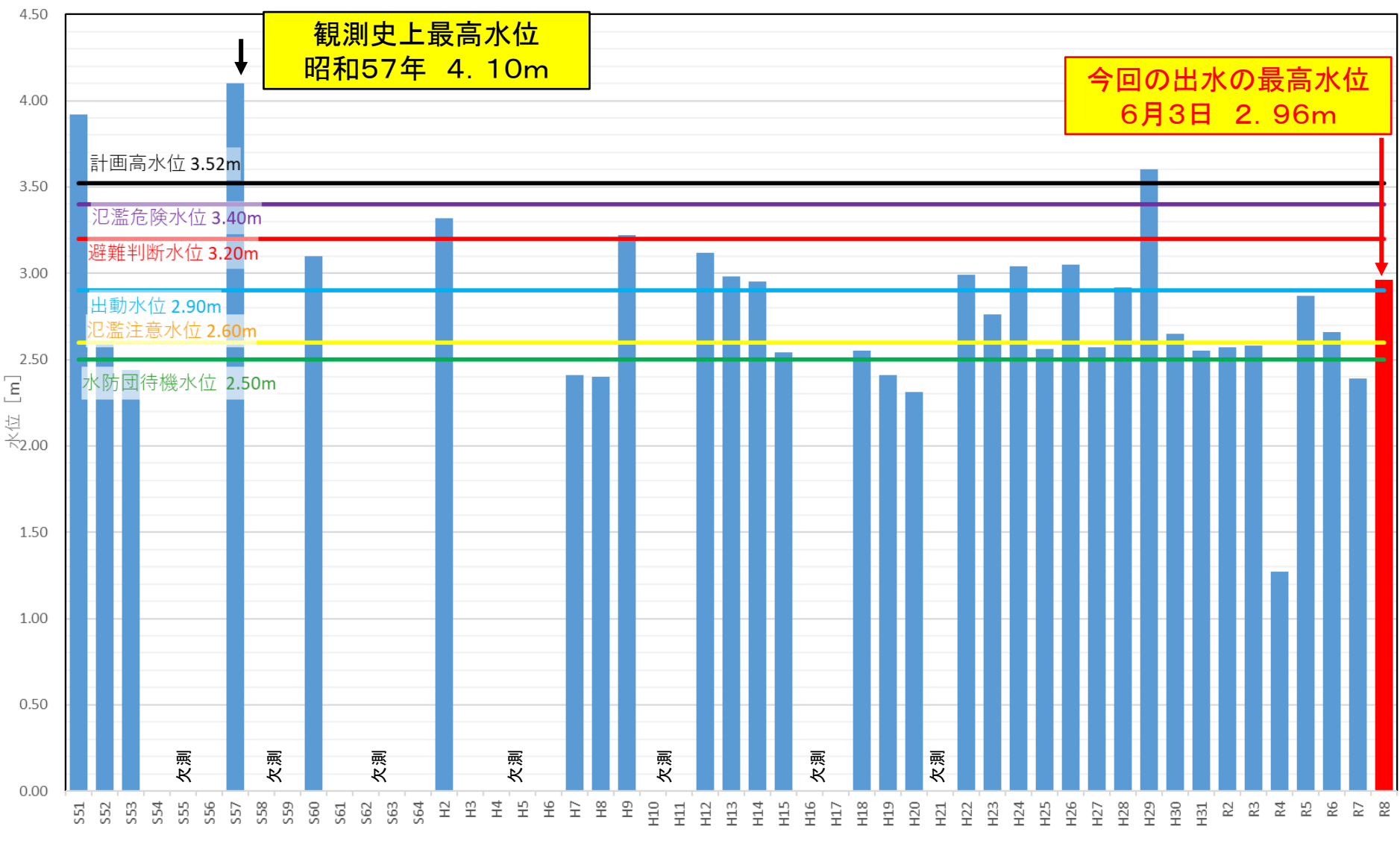
宮川 岩出水位観測所 年最高水位比較図



※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

水位の概要(岡本水位観測所:宮川水系勢田川)

勢田川 岡本水位観測所 年最高水位比較図

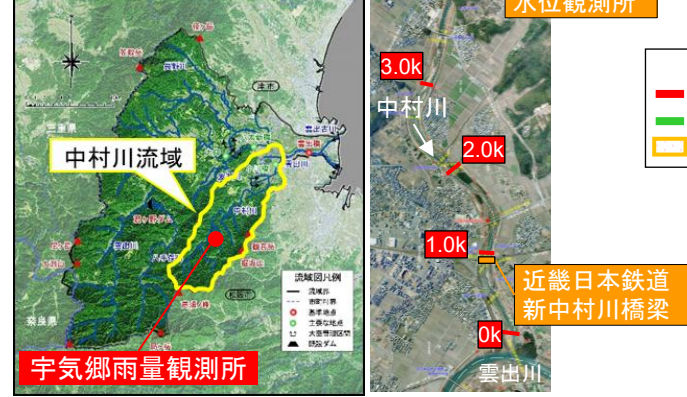


※本資料の令和8年最高水位は、今後の照査により変わる可能性があります。

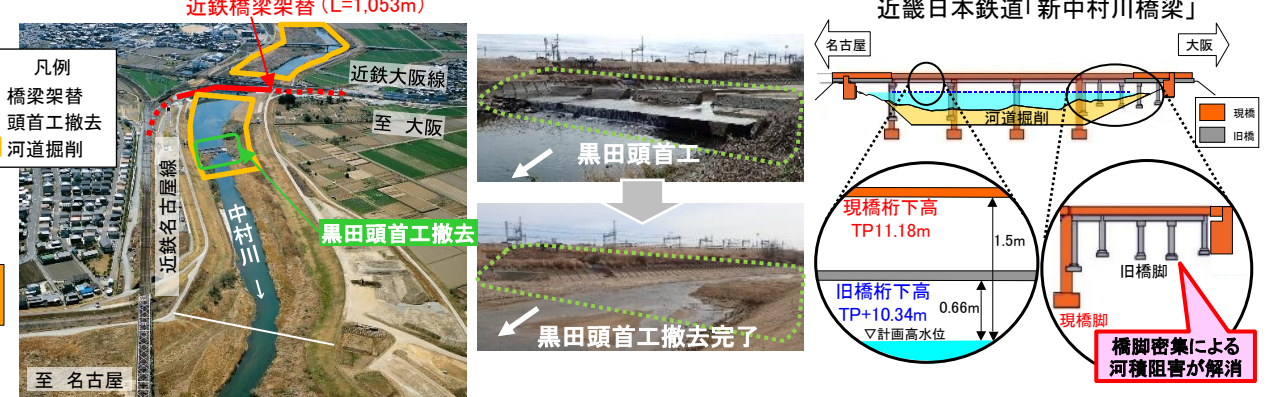
雲出川水系 中村川の事業効果

- 雲出川水系中村川では、令和8年6月台風第6号に伴う大雨により、宇気郷雨量観測所において総雨量381mm(時間最大雨量51mm)を観測し、島田橋水位観測所において氾濫危険水位(2.80m)を超過する3.64mの水位を観測しました。
- これまでに雲出川特定構造物改築事業(近畿日本鉄道新中村川橋梁)【平成14年～平成24年】や防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策【平成30年～令和2年】及び防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策【令和3年～令和7年】による河道掘削等を実施したことで、1.0k地点において、約0.8mの水位を低下させ計画高水位の超過を回避しました。(推定値)

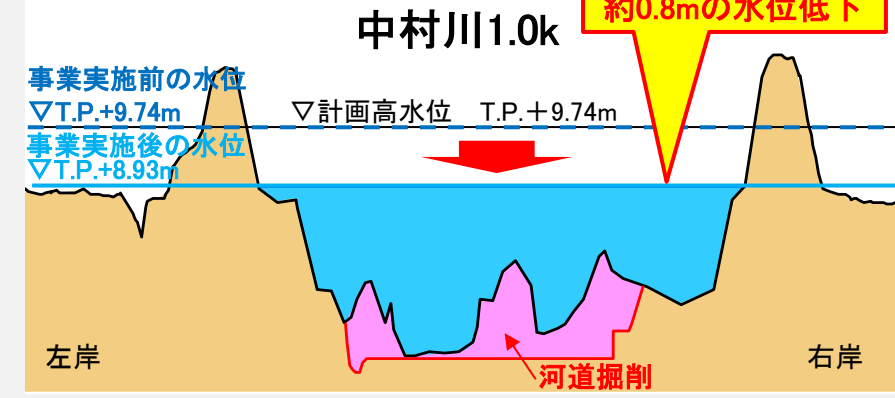
位置図



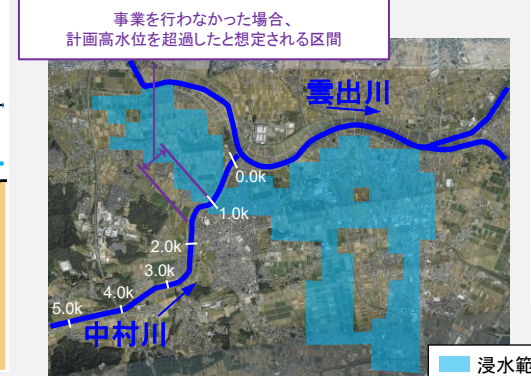
事業実施状況 (近鉄橋梁の改築、頭首工撤去、河道掘削等)



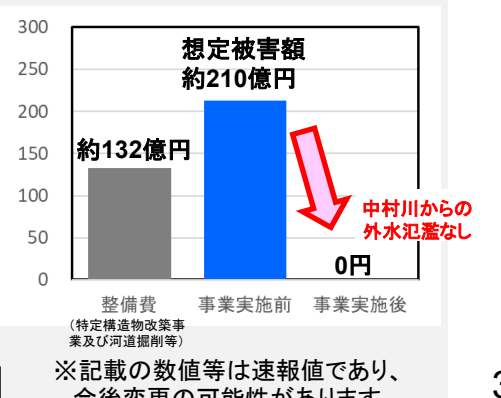
今回出水に対する整備効果



○事業(近鉄橋梁の改築、頭首工撤去、河道掘削等)を行っていない場合の浸水範囲(想定)



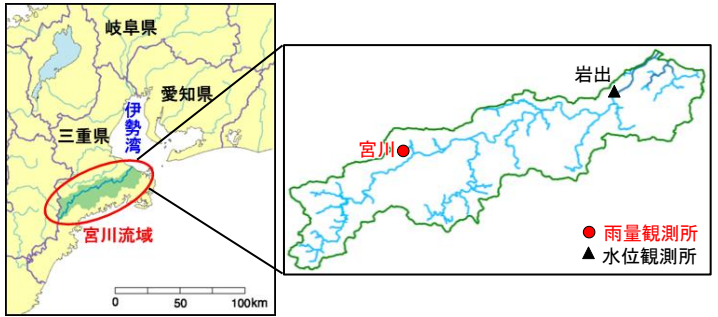
○被害の軽減効果



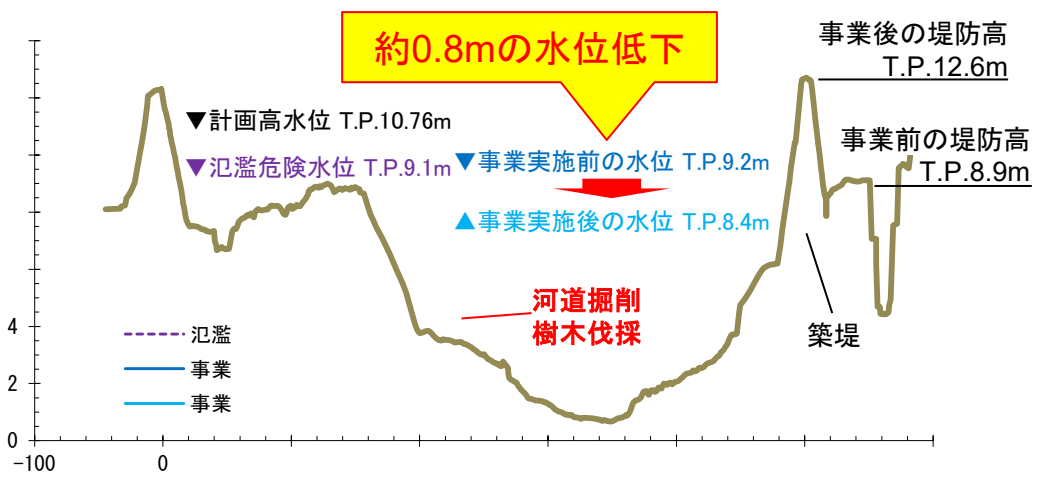
宮川水系 宮川の事業効果

- 宮川水系宮川では、令和8年6月台風第6号に伴う大雨により、宮川雨量観測所において総雨量315mmを観測し、岩出水位観測所において避難判断水位(7.20m)を超過する7.25mを観測しました。
- 宮川では、床上浸水対策特別緊急事業(河道掘削、築堤) [H18~H23]を行ったことにより、8.8k地点(伊勢市大倉地区)において、約0.8mの水位を低下させ氾濫危険水位の超過を回避しました。(推定値)

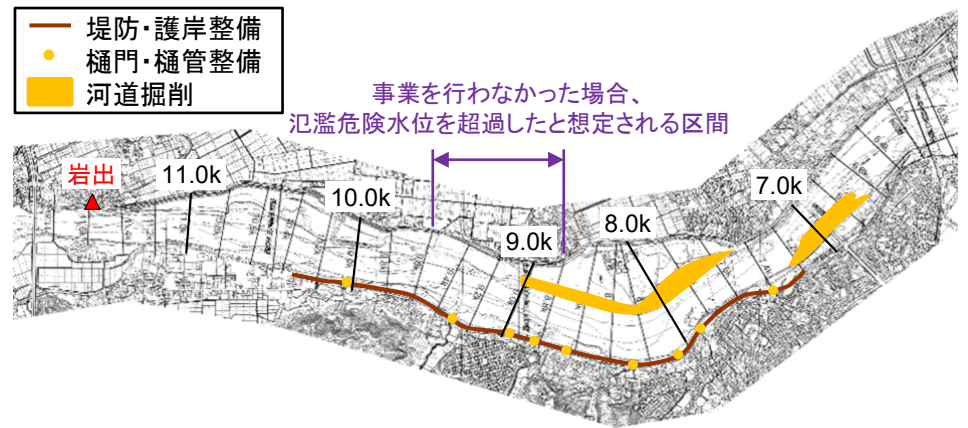
■位置図



■今回出水に対する整備効果(宮川8.8k)



■事業実施状況



※記載の数値等は速報値であり、今後変更の可能性があります。

出水時の対応状況について

○ 令和8年6月3日に鈴鹿川水系、雲出川水系、櫛田川水系、宮川水系において、被害箇所等の早期発見や被害拡大防止を目的に出水時巡視を実施しました。

河川名		巡視開始	巡視終了	巡視業者
鈴鹿川水系	鈴鹿川	出水時巡視: 6/3 08:00	出水時巡視: 6/3 10:30	出水時巡視: 朝日土木(株)
	内部川	出水時巡視: 6/3 08:00	出水時巡視: 6/3 11:00	出水時巡視: 朝日土木(株)
雲出川水系	波瀬川	洪水時巡視: 6/3 02:20 出水時巡視: 6/3 06:20	洪水時巡視: 6/3 05:30 出水時巡視: 6/3 08:00	洪水時巡視: 日本土建(株) 出水時巡視: 中村土建(株)
	中村川	洪水時巡視: 6/3 03:15 出水時巡視: 6/3 06:20	洪水時巡視: 6/3 04:10 出水時巡視: 6/3 07:50	洪水時巡視: 三重農林建設(株) 出水時巡視: 中村土建(株)
	雲出川	出水時巡視: 6/3 06:35	出水時巡視: 6/3 07:40	出水時巡視: 中村土建(株)
櫛田川水系	櫛田川	出水時巡視: 6/3 09:15	出水時巡視: 6/3 10:50	出水時巡視: 丸亀産業(株)
	佐奈川	洪水時巡視: 6/3 02:35 出水時巡視: 6/3 09:30	洪水時巡視: 6/3 05:20 出水時巡視: 6/3 10:50	洪水時巡視: 中井土木(株) 出水時巡視: 丸亀産業(株)
宮川水系	宮川	出水時巡視: 6/3 08:15	出水時巡視: 6/3 10:30	出水時巡視: 海老屋・西山経常建設JV



鈴鹿川右岸22.8k 付近



雲出川右岸4.2k 付近



宮川右岸8.0k 付近

直轄河川管理施設の稼働状況

○ 櫛田川水系において河川管理施設を稼働。

<河川管理施設の稼働状況>

水系	河川名	施設名	開放期間
櫛田川水系	櫛田川	櫛田可動堰	6/3 7:30 ~ 6/4 13:20



<櫛田可動堰 開門前>



<櫛田可動堰 開門後>

直轄河川管理施設の稼働状況について

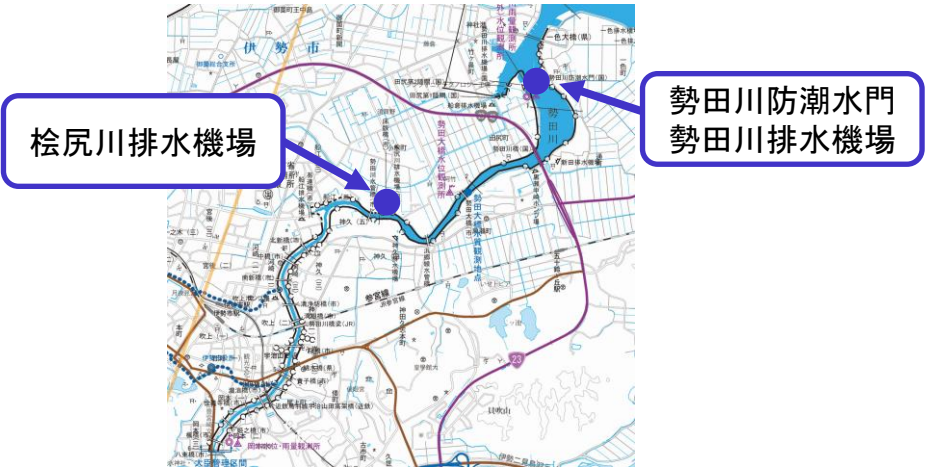
- 勢田川への高潮等による逆流を防止し、洪水を安全に流下させるため、勢田川防潮水門及び勢田川排水機場の操作を行いました。
- 勢田川から桧尻川への逆流を防止し、洪水を安全に流下させるため、桧尻川排水機場の操作を行いました。

＜勢田川防潮水門及び勢田川排水機場の操作＞

日 付	時 間	内 容
6月3日	2:00	ゲート全閉操作完了
	2:00～8:00	ポンプ稼働
	8:00	ゲート全開操作完了

＜桧尻川排水機場の操作＞

日 付	時 間	内 容
6月3日	2:10～10:10	ポンプ稼働



＜勢田川防潮水門の平常時と全閉時の比較＞



洪水予報、水位周知情報の発表状況

○台風第6号における管内の「洪水予報」または「水位到達情報」の発表状況は、以下の表のとおりです。
特に雲出川水系においては、レベル4相当の水位に到達し、自治体が発令する避難指示に資する
水位情報の発信を行いました。

<洪水予報>

宮川	岩出	1	レベル2 氾濫注意報	05:4
櫛田川	櫛田橋	2	レベル2 氾濫注意報	06:5
鈴鹿川	高岡	1	レベル3 氾濫警報	07:1
雲出川	大仰・雲出橋	3	レベル3 氾濫警報	07:5
宮川	岩出	2	レベル3 氾濫警報	08:2
宮川	岡本	2	解除	08:2
雲出川	雲出橋	4	レベル2 氾濫注意報	08:5
宮川	岩出	3	レベル2 氾濫注意報	10:2
鈴鹿川	高岡	2	解除	10:3
雲出川	雲出橋	5	解除	13:1
櫛田川	両郡	3	レベル2 氾濫注意報	13:3
宮川	岩出	4	解除	13:4
櫛田川	両郡	4	解除	15:1

<水位周知情報>

内部川
佐奈川
内部川
波瀬川
中村川

水防警報の発表状況

○台風第6号における管内の「水防警報」の発表状況は以下の表のとおりです。
管内の各水系において、水防団の出動に資する情報の発信を行いました。

<水防警報>

河川	
佐奈川	
波瀬川	
中村川	
中村川	
佐奈川	
中村川	
宮川	
波瀬川	
雲出川	
雲出川	
雲出川	
櫛田川	
雲出川	
雲出川	
宮川	
内部川	
櫛田川	
宮川	
宮川	
櫛田川	
鈴鹿川	
雲出川	
宮川	
雲出川	
宮川	
佐奈川	
鈴鹿川	
内部川	
波瀬川	
雲出川	
中村川	
櫛田川	
宮川	
櫛田川	

ホットライン実施状況

○災害発生リスクが高まった河川について、関係自治体へ事務所長よりホットライン※を実施し河川の状況等を直接伝えました。

※刻一刻と変化する河川の状況の中、市町村長が「避難勧告」及び「避難指示」を的確に発令するために、「洪水予報」に加え事務所長から市町村長へ直接、河川の状況を伝える「ホットライン」を開設し、情報の補完を実施しています。

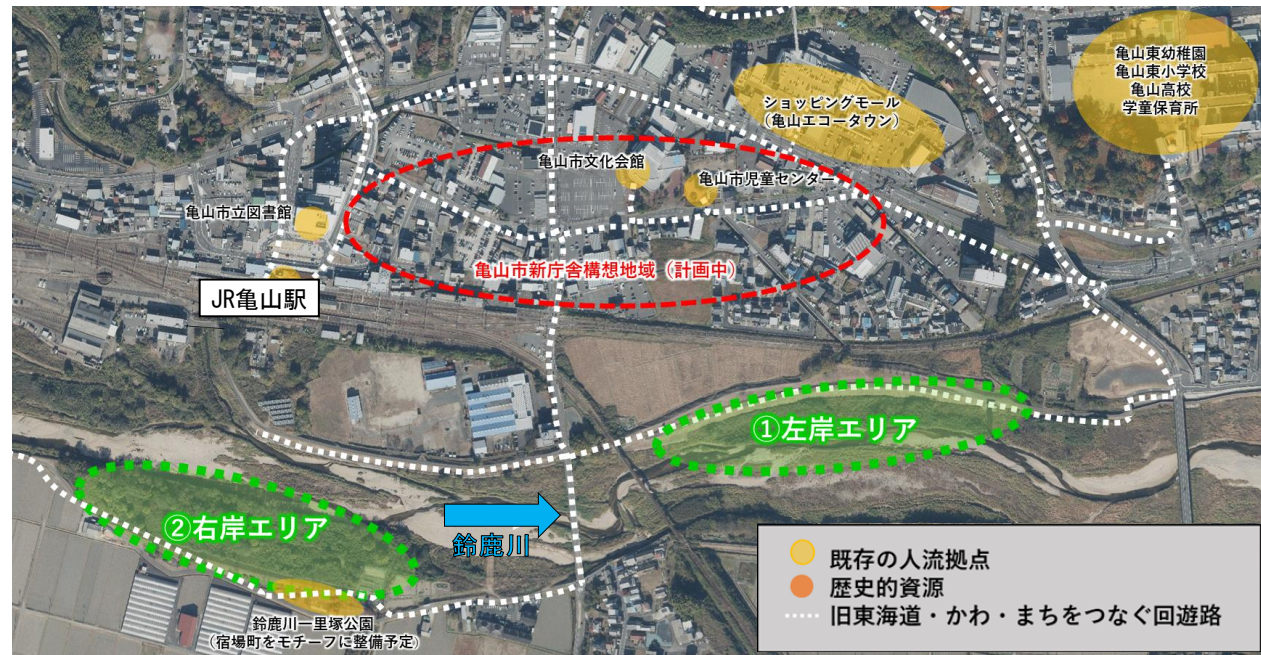
自治体名	実施状況
松阪市	6月3日 03:30
津市	6月3日 04:50
松阪市	6月3日 04:50
津市	6月3日 05:35
四日市市	6月3日 06:10
伊勢市、志摩市、鳥羽市、度会町	6月3日 06:40
鈴鹿市	6月3日 07:40

鈴鹿川亀山市かわまちづくり計画について

鈴鹿川亀山市かわまちづくり計画について

○亀山市において鈴鹿川でかわまちづくり計画の登録に向けて計画書の申請を行っています。

【かわまちづくり計画対象範囲】



【①左岸エリア:水辺共創アクティブフィールドイメージ】



【②右岸エリア:水辺ネイチャーひみつ基地拠点イメージ】



【平面イメージ図】

